



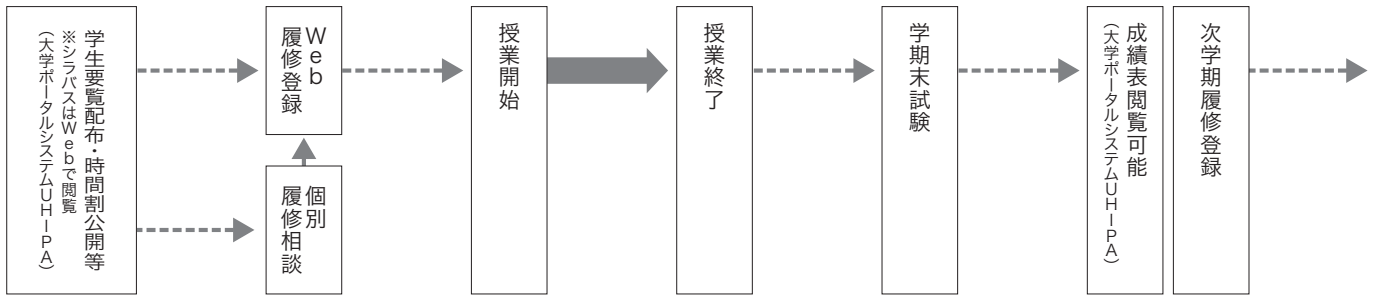
Chapter 2 教育

聖学院大学の学部教育の特色は、専門教育はもちろんのこと、どの学部学科に所属していても、各学部が提供する専門基礎科目を広く学んでいくことができますので、専門性と幅広い教養を身につけることができるということです。

1年次には専任教員1人に対して10～13人の学生でアドバイザークラスが構成され、授業の履修の仕方や大学生活について助言を受けることができます。また学科の規模はほどよい大きさで、授業も9割が50人以下のクラスですので、教員と学生、あるいは学生同士がフレンドリーな雰囲気の中で学んでいます。その良さは専門教育を行うゼミや演習、実習にも引き継がれ、さらに卒業した後も盛んに交流が行われていますが、これも聖学院大学の誇る特色の一つです。

履修について

大学授業の流れ



時間割

大学生になると、自分の履修科目を自ら計画し、時間割をつくることが出来ます。しかし、ただ好きなことや興味のあることだけを選択できるという訳ではありません。時間割を組む際には、いくつかの履修条件(ルール)があります。例えば、学科ごとに履修できる単位数の上限があり、それを超える履修はできません。また、科目によっては対象学年や履修順序が定められていることもあります。時間割を組む際は、これらのルールに注意して履修計画を立てなければなりません。なお、履修計画については個別相談も行っています。4年間の計画的な履修計画で充実した学生生活を送ることができるように万全のサポートを行っています。

時間割の組み方

①必修科目を入れる。

自分の学科・学年に該当する必修科目(卒業までに必ず単位修得しなければならない科目、表では◎で表示)の時間を確認します。その時間帯には他の科目を入れることはできません。

②選択科目を入れる。

必修科目に必要な時間以外の空き時間に選択科目(表では△で表示)を選択します。ここでは、他学科の授業を選択することも出来ますが、所属学科の専門科目の履修を優先させます。また、選択科目には、卒業に必要な選択必修科目(表では○で表示)もあるので注意が必要です。

単位

聖学院大学では大学設置基準に基づく単位制度を採用しています。「単位制」は、大学で開設されている授業から所定の科目を履修し、4年間の在学期間中に卒業に必要な単位を修得していく制度です。大学では主体的な学びのための学生の学修時間として、1単位は予習や復習などの自学を含めて45時間の学修を要する内容で構成することが標準とされています。本学ではラーニングセンター(P.54参照)を利用した、学生の主体的な学びをバックアップしています。本学を卒業するためには、基礎科目・教養科目・専門科目等から最低、計124単位を修得する必要があります。そのため、計画的に単位修得をしなければなりません。履修した科目の単位を修得するためには、最低でも3分の2以上の出席が必要条件となります。また、各科目ごとに課せられる試験を受験し、レポートをきちんと提出することも条件となっています。

履修登録

大学では、授業を履修するには、まずその科目を受講するための登録が必要です。各学期ごとに各自の履修計画に沿った科目を、指定された履修登録期間に登録します。聖学院大学の学生はWebを利用して登録を行っています。履修希望者の多い科目は人数制限を行う場合もあります。

セメスター制

聖学院大学では、1年を春学期(4～9月)と秋学期(10～3月)の2学期に分けて授業を行うセメスター制度を導入しています。各学期にそれぞれ履修登録・授業・試験・成績発表があります。

セメスター制では、1科目の授業が週2回行われることになります。そのため学生の1週間における学習科目数が減るので、1科目のために、より多くの時間とエネルギーを注ぐことができるようになり、学習効果が向上します。また、履修登録も1年に2回行うことになるので、柔軟性のある履修が可能になります。

さらに、海外の大学の授業周期と似た形態をとることになるので、留学などを考える学生にとっては留学先の事情に対応しやすいといった効果があげられます。

授業・試験・成績について

月・土曜日(土曜は2限まで)	火～金曜日
1限 9:00～10:30	1限 9:00～10:30
2限 10:40～12:10	2限 10:40～12:10
3限 13:00～14:30	3限 13:00～14:30
4限 14:40～16:10	全学礼拝 14:40～15:10
5限 16:20～17:50	4限 15:20～16:50
	5限 17:00～18:30

通常月曜から金曜は5限まで、土曜日は2限までの授業を各90分間で行います。火～金曜日は、全学礼拝が3限と4限の間に30分間あるため、月・土曜日の授業時間帯とは異なります。

試験は基本的に春学期・秋学期の学期末ごとに実施します。試験には教室で行われる「教場試験」の他にレポートの提出を試験に代える科目もあります。成績発表は年2回、学期ごとに成績通知表が学生に送付され、成績によっては不合格となり単位の修得ができない場合もあります。そのため、聖学院大学では学業結果を総合的に判断する成績評価制度を採用し、公平な成績評価を実施しています。

基礎科目

大学教育を受けるための基礎を養うとともに、
聖学院大学の理念の理解および実現への姿勢を整える科目群です。

基礎科目群は、基礎科目、英語科目、第二外国語科目、スポーツ科目、キリスト教関連科目その他からなっています。

主な担当教員専門分野 ※ラーニングセンターの教員はP.54参照

 特任講師 L.アーノルド 第二言語習得、 学習ティペロップメント	 教授(政治経済学科兼務) 学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸 光晴 キリスト教社会倫理学、 日本国憲法	 准教授 岡村 佳代 第二言語としての 日本語教育	 客員教授 酒井 俊行 インターンシップ論、中小企 業金融論、起業論、経営論	 特任講師 島田 洋子 第二言語習得	 准教授 鄭 鎬碩 社会情報学	 特任講師 棚橋 明美 第二言語としての 日本語教育
 特任講師 チェンバレン 暁子 第二言語習得、マルチメ ディアを用いた英語教育	 特任講師 中川 英幸 第二言語習得、 外国語としての英語教育	 特任講師 メイス みよ子 第二言語習得	 嘱託研究員 吉澤 剛士 健康情報科学			

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択
基礎科目			英語科目			ECA(Reading)I (ALL) Level a ◎		
キリスト教概論A	阿部 洋治/菊地 順 /吉岡 光人/五十嵐 成見/山ノ下 恭二/石田 学/田中 かおる/東野 尚志/野島 邦夫/柳田 洋夫	◎	ECA(英語基礎表現)I (ALL)	能町 和子	◎	ECA(Reading)I (ALL) Level b ◎	能町 和子/島田 洋子	◎
キリスト教概論B	阿部 洋治/菊地 順 /吉岡 光人/五十嵐 成見/山ノ下 恭二/石田 学/田中 かおる/東野 尚志/野島 邦夫/柳田 洋夫	◎	ECA(英語基礎表現)I Level a	K.J.マクレン /L.アーノルド/チェンバレン 暁子/中川 英幸/島田 洋子	◎	ECA(Reading)I Level a ◎	チェンバレン 暁子/メイス みよ子/中川 英幸/島田 洋子	◎
基礎教育入門(書き方)	上嶋 康道/新井 尚子/太田 ミユキ/中島 佐和子/副田 恵	◎	ECA(英語基礎表現)I Level b	チェンバレン 暁子/中川 英幸/島田 洋子	◎	ECA(Reading)I Level b ◎	チェンバレン 暁子/中川 英幸/島田 洋子	◎
基礎教育入門(話し方)	幸田 儋朗/風見 雅章	◎	ECA(英語基礎表現)I Level c	チェンバレン 暁子/中川 英幸/島田 洋子/能町 和子	◎	ECA(Reading)I Level c ◎	中川 英幸/島田 洋子	◎
情報基礎	加藤 裕康/原島 大輔/二神 常爾/堀川 裕介/鈴木 省吾	◎	ECA(英語基礎表現)I Level d	チェンバレン 暁子/メイス みよ子	◎	ECA(Reading)I Level d ◎	チェンバレン 暁子/メイス みよ子	◎
情報リテラシー		◎	ECA(英語基礎表現)I (Super A)	L.アーノルド	◎	ECA(Reading)I (Super A) ◎	メイス みよ子	◎
話し方表現応用講座	川野 一宇	△	ECA(英語基礎表現)II Level a	L.アーノルド/チェンバレン 暁子	◎	ECA(Reading)II Level a ◎	チェンバレン 暁子/メイス みよ子	◎
話し方表現実践演習	幸田 儋朗	△	ECA(英語基礎表現)II Level b	中川 英幸/島田 洋子	◎	ECA(Reading)II Level b ◎	中川 英幸/島田 洋子	◎
			ECA(英語基礎表現)II Level c	島田 洋子	◎	ECA(Reading)II Level c ◎	島田 洋子	◎
			ECA(英語基礎表現)II Level d	チェンバレン 暁子	◎	ECA(Reading)II Level d ◎	チェンバレン 暁子	◎
			ECA(英語基礎表現)II (Super A)	L.アーノルド	◎	ECA(Reading)II (Super A) ◎	メイス みよ子	◎
						ECA(Speaking)I (ALL)	L.アーノルド	◎/△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載していません)。留学生用の科目は含みません。
※学科によって必修、選択必修、選択科目が異なる場合があります。

科目名	担当教員	必修/選択
ECA (Speaking) I Level a	L.アーノルド	◎/△
ECA (Speaking) I Level b	チェンバレン 暁子	◎/△
ECA (Speaking) I Level c	中川 英幸/ 島田 洋子	◎/△
ECA (Speaking) I Level d	メイス みよ子	◎/△
ECA (Speaking) I (Super A)	M.サベット	◎/△
ECA (Speaking) II Level a	L.アーノルド	◎/△
ECA (Speaking) II Level b	チェンバレン 暁子	◎/△
ECA (Speaking) II (Super A)	M.サベット	◎/△
ECA (Cinema) I (ALL)	能町 和子	△
ECA (Cinema) I (ALL)	メイス みよ子	△
ECA (Cinema) I (ALL)	島田 洋子	△
ECA (Cinema) II (ALL)	能町 和子	△
ECA (Cinema) II (ALL)	メイス みよ子	△
ECA (Cinema) III	中川 英幸	△
ECA (English through Songs) A	K.J.マクレン/ 遠藤 由佳里	△
ECA (English through Songs) B	能町 和子/ 遠藤 由佳里	△
ECA (Pleasure Reading) A	島田 洋子	△
ECA (Pleasure Reading) B	島田 洋子	△
ECA (Business)	中川 英幸	△
ECA (English for Omotenashi)	遠藤 由佳里	△
ECA (Travel English)	K.J.マクレン/ メイス みよ子	△
ECA (Basic TOEIC) A	島田 洋子	△
ECA (Basic TOEIC) B	能町 和子	△
ECA (やり直しの発音)	メイス みよ子	△
ECA (Global Understanding)	L.アーノルド	△
第二外国語 I		
ドイツ語 I (初級 A)	宮崎 泰行/ 小谷 哲夫/ 清水 威能子	◎/△
ドイツ語 II (初級 B)	宮崎 泰行/ 小谷 哲夫	◎/△
フランス語 I (初級 A)	石田 明夫/ 小室 廉太/ 塩谷 祐人	◎/△
フランス語 II (初級 B)	石田 明夫/ 小室 廉太	◎/△
スペイン語 I (初級 A)	越智 直子	◎/△
スペイン語 I (初級 A)	宮内 ふじ乃	◎/△
スペイン語 II (初級 B)	越智 直子	◎/△
イタリア語 I (初級 A)	高津 美和	◎/△
イタリア語 II (初級 B)	高津 美和	◎/△
中国語 I (初級 A)	閻 子謙/ 福田 素子/ 新田 小雨子	△
中国語 II (初級 B)	新田 小雨子/ 閻 子謙	△
韓国語 I (初級 A)	溝口 カブスン/ 金 娜玄	△
韓国語 II (初級 B)	溝口 カブスン	△

科目名	担当教員	必修/選択
スポーツ科目		
健康・体づくり実習 A (サッカー)	檜山 康	△
健康・体づくり実習 A (ソフトボール)	神田 良太郎	△
健康・体づくり実習 A (テニス)	小澤 治夫	△
健康・体づくり実習 A (ニュースポーツ)	神田 良太郎	△
健康・体づくり実習 A (フィットネスエクササイズ)	鈴木 由美	△
健康・体づくり実習 A (ボウリング)	小澤 治夫	△
健康・体づくり実習 A (複合スポーツ)	松永 直人	△
健康・体づくり実習 B (サカソフットボール)	檜山 康	△
健康・体づくり実習 B (ソフトボール)	神田 良太郎	△
健康・体づくり実習 B (テニス)	小澤 治夫	△
健康・体づくり実習 B (ニュースポーツ)	神田 良太郎	△
健康・体づくり実習 B (バドミントン)	松永 直人	△
健康・体づくり実習 B (バレーボール)	鈴木 由美	△
健康・体づくり実習 B (ボウリング)	鈴木 直樹	△
生涯スポーツ実習 A (ゴルフ)	和田 雅史	△
生涯スポーツ実習 A (コンバインドスポーツ)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 A (サッカー)	檜山 康	△
生涯スポーツ実習 A (テニス)	小澤 治夫	△
生涯スポーツ実習 A (フィットネスエクササイズ)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 A (ボウリング)	鈴木 直樹	△
生涯スポーツ実習 A (複合スポーツ)	松永 直人	△
生涯スポーツ実習 B (サカソフットボール)	檜山 康	△
生涯スポーツ実習 B (テニス)	小澤 治夫	△
生涯スポーツ実習 B (バスケットボール)	松永 直人	△
生涯スポーツ実習 B (バドミントン)	松永 直人	△
生涯スポーツ実習 B (バレーボール)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 B (フィットネスエクササイズ)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 B (ボウリング)	鈴木 直樹	△
キリスト教関連科目		
聖書の世界 A	野島 邦夫	△
聖書の世界 B	野島 邦夫	△
キリスト教と歴史形成 A	石田 学	△
キリスト教と歴史形成 B	石田 学	△
キリスト教思想史 A	村瀬 天出夫	△
キリスト教思想史 B	村瀬 天出夫	△
キリスト教と法	加藤 恵司	△
キリスト教と国際社会 A	鄭 鎭碩	△
キリスト教と国際社会 B	鄭 鎭碩	△
キリスト教と日本社会 A	柳田 洋夫	△
キリスト教と日本社会 B	柳田 洋夫	△
キリスト教と日本宗教	濱田 辰雄	△
キリスト教と日本思想	濱田 辰雄	△
キリスト教とアメリカ文化 A	森田 美千代	△
キリスト教とアメリカ文化 B	森田 美千代	△

科目名	担当教員	必修/選択
キリスト教とアジア文化 A	松本 周	△
キリスト教とアジア文化 B	松本 周	△
キリスト教音楽史 A	渡辺 善忠	△
キリスト教音楽史 B	渡辺 善忠	△
キリスト教と自然科学 A	村瀬 天出夫	△
キリスト教と自然科学 B	村瀬 天出夫	△
キリスト教と音楽 A	渡辺 善忠	△
キリスト教と音楽 B	渡辺 善忠	△
キリスト教と美術 A	喜田 敬	△
キリスト教と美術 B	喜田 敬	△
キリスト教と福祉活動の実際 A	吉岡 光人	△
キリスト教と福祉活動の実際 B	吉岡 光人	△
キリスト教カウンセリング論	藤掛 明	△
キリスト教と心のケア	村上 純子	△
キャリア教育科目		
時事問題演習	森脇 健介/ 山本 祥弘	◎/○/△
図表理解 Level a	森脇 健介/ 山本 祥弘	◎
図表理解 Level b	森脇 健介/ 山本 祥弘	◎
図表理解 Level c	森脇 健介/ 山本 祥弘	◎
キャリアデザイン A	萬年山 啓/ 上田 信一郎	◎/△
キャリアデザイン B	萬年山 啓/ 上田 信一郎	◎/△
業界・企業研究	酒井 俊行/ 中田 順平	△
インターンシップ I (事前学習)	酒井 俊行/ 中田 順平	△
インターンシップ II (実習)	酒井 俊行	△
その他		
日本国憲法	石川 裕一郎/ 加藤 恵司/ 齋藤 美沙/ 平松 直登	△
Special Lecture Series		△
地元学	渡辺 正人/ 熊谷 芳郎	△
金石学	渡辺 正人/ 平 修久/ 金谷 京子	△
国際ボランティア実践と研修		△
被災地ボランティア A/B/C		△
オーストラリア文化演習		△
カナダ文化演習		△
海外文化演習		△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。留学生用の科目は含みません。
※学科によって必修、選択必修、選択科目が異なる場合があります。

教養科目

教養科目の目的は、本学のめざす人間形成に向けて幅広く深い教養を学ぶことにあります。所属する学部以外の科目群から選択し履修します。

教養科目は、A群(政経)、B群(欧米・日文)、C群(児童・こども心理・人間福祉)、D群からなっています。

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
A群		
政経	政治学	榎本 珠良/宮本 悟/高橋 愛子/森 達也/森分 大輔 ○
	経済学	鈴木 真実哉/大森 達也/高橋 聡/由川 稔/正上 常雄 ○
	法学	松村 芳明/渡辺 英人/木村 裕二/齋藤 美沙 ○
	社会学	加藤 敦也/加藤 裕康/新津 尚子/齋藤 圭介 ○
	環境学	村上 公久 ○
B群		
欧米	哲学	高橋 章仁 ○
	西洋史	森 育文/田中 史高/村瀬 天出夫 ○
	欧米文学	塩谷 祐人 ○
日文	言語学	小林 茂之 ○
	文学	上宇都ゆりほ/中島 佐和子 ○
	日本史	松井 慎一郎 ○
	文化学	坂巻 理恵子 ○
	異文化間コミュニケーション	鄭 鎬碩 ○

科目名	担当教員	必修/選択
C群		
児童	演奏形式とその音楽	池上 真理子 ○
	絵本文化	上原 里佳 ○
こども心理	障害児(者)の理解と社会	吉田 昌義 ○
人間福祉	福祉環境学	山田 義文 ○
	心理学概論	中原 純 ○
	社会福祉概論	山本 博之 ○
D群		
共生を考える	阿久戸 光晴 ○	
多文化社会内起業	戸邊 治朗 ○	
情報と社会	鄭 鎬碩 ○	

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

総合科目

学部教育の総仕上げとして、問題を総合的、思索的、批判的に掘り下げて考える力を養うことを目標とし、4年次に開講します。

聖学院大学の教育の理念や建学の精神にも関わり、

さらには大学院との接続を考慮した、より高度な、あるいは学際的な内容の科目です。

本科目群は必須のものではありませんが、それまでの聖学院大学における学びをより発展させたい場合や、大学院への進学を志す者はぜひ取得したい科目です。

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
経済学研究	柴田 武男	△
地球環境論研究	村上 公久	△
まちづくり論研究	平 修久	△
社会的起業論	大高 研道	△
地域文化論	佐藤 一子	△
欧米文化学特論	清水 正之	△
日本思想特論	村松 晋	△
日本文化学研究A	清水 正之	△

科目名	担当教員	必修/選択
日本文化学研究B	村松 晋	△
児童教育学特論	佐藤 千瀬	△
児童学研究	田澤 薫	△
高齢者保健福祉特論	古谷野 亘	△
児童福祉特論	中谷 茂一	△
障害者福祉特論	木下 大生	△
発達心理学特論	堀 恭子	△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

政治経済学科

基本情報

(政治経済学部)

- 開設年度 1988年
- 学生数 1年次 158名
2年次 141名
3年次 113名
4年次 171名
(男440名/女143名)
2016年5月1日現在

1・2・3年次は政治経済学科のみ。
4年次はコミュニティ政策学科含む。

学科目標

3つの科目群の中から、
自分の関心にあったカリキュラムを教員と一緒に組み立て、
幅広い基礎知識と深い専門知識とを併せ持った人材を育成します。

政治経済学科の学生は、政治経済という広範囲な対象から「政治経済」「まちづくり」「経営コミュニケーション」の科目群の中から、自分の関心に合ったカリキュラムを教員と一緒に組み立てることにより、社会に出て通用する、経済・経営・政治の幅広い知識を習得します。三つに分類されていますから、自分の関心に添って学びやすいのが特徴です。さらに「公務員試験対策プログラム」など、採用試験・資格取得のためのプログラムも充実しています。

少人数教育の徹底

学びを政治経済学科の特色である「少人数教育」を通じて実現していきます。特に、1年次から始まる演習科目は1クラス8名を原則としています。ただし、人数が少ないだけの教育ではありません。個別指導といえるほどの丁寧な教育を行っています。他にも1年次生を対象とする専門の教員から学習の手助けをもらえる制度や、上級生が同じ学生として指導してくれるチュートリアルも実施しています。こうした「少人数教育／個別指導」は、政治経済学科の強みの一つです。

企業人として、公務員として活躍する将来や、 大学院との連携、5年で修士号取得も可能。

4年間の学びを基礎に、学生が社会に活躍の場を見いだし、はじめて私たちの教育は完成します。たとえば社会や地域に役立つ企業人として、あるいは公務員として活躍する…。

それだけではなく、政治経済学部には政治政策学研究科という大学院修士課程があります。学部から大学院への進学には優遇制度があります。選抜された政治経済学部の学生は、学部の4年次で大学院1年次の科目を履修することができますから、学部入学から大学院卒業まで合わせて最短5年間で大学(学士号)と大学院(修士号)を修了できます。6年かかるところを頑張れば5年で学士号・修士号の取得が可能です。大学院での税法コースを修了すれば、税理士試験科目5科目中難関の税法2科目が免除されます。難関の税理士試験合格も夢ではありません。大学院進学に向かってしっかり勉強すれば、国家公務員である国税専門官を目指し合格することも十分可能です。

学科概要

「政治学」「法学」「経済学」「経営学」「社会学」「情報学」という社会科学の6分野を横断的に学ぶことで、世界を見渡すグローバルな視点と地域を見つめるローカルな視点を兼ね備え、現代社会の問題解決を図ることのできる“グローバル”な人材の育成をめざします。

特色ある学び

- インターンシップ
- 政経特論
- 海外研修
- アセンブリアワー
- 1年次からのゼミ
- NPO・NGOとの連携
- 就業力育成プログラム
- 公務員試験対策プログラム
(一般行政職・警察官・消防官)

将来の活躍分野

- 金融業界
- メーカー、商社、流通、販売業界
- マスコミ、出版業界
- NPO/NGO
- 中学/高校教諭
- 公務員
- 起業家
- 大学院進学
- 留学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史、公民)
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 図書館司書資格
 - 学校図書館司書教諭資格
 - 社会福祉主事任用資格
 - 社会教育主事任用資格
- [場合によっては取得可能な資格]
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
 - 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可

専任教員一覽



教授(基礎総合教育部兼務)
学校法人聖学院理事・院長
阿久戸 光晴
キリスト教社会倫理学、
日本国憲法



教授
飯島 康夫
都市史



教務部長 教授
石川 裕一郎
憲法、フランス法



教授
大高 研道
NPO・社会的企業論、
地域社会教育論



特任教授
井上 兼生
哲学・倫理学教育、
応用倫理学



教授
大森 達也
比較経済、日本経済



教授
加藤 恵司
法思想史、民法(家族法)



准教授
金子 毅
経営史、労務管理、安全学



大学・学部チャプレン 教授
菊地 順
キリスト教組織神学



特任講師
木村 裕二
民事法



助教
小松崎 利明
国際法、平和研究



教授
柴田 武男
金融市場論、企業経済論



副学長 教授
平 修久
まちづくり、政策評価



教授
高橋 愛子
西洋政治思想史、
政治過程論



学生部副部長 准教授
竹井 潔
情報倫理、情報通信ネット
ワーク論、経営情報、企業
情報システム論



学部長兼政治政策研究科長
教授
谷口 隆一郎
哲学、倫理学、公共哲学



特任講師
内藤 みち
日本語言語学、対照言語学、
日本語教育、一般言語学



特任教授
(大学院政治政策学研究所担当)
野田 扇二郎
法人税法、消費税法、
財務諸表論



教授
土方 透
理論社会学、リスク社会学、
社会システム理論



教授(政治経済学科兼コミュニ
ティ政策学科長補佐)
宮本 悟
政治学、国際政治学、比較
政治学、安全保障論、政軍
関係論、朝鮮半島研究



教授
村上 公久
森林資源学、森林水文学、
砂防工学、土壌浸食論、
環境保全論



准教授
森分 大輔
現代政治理論



キャリアデザイン部長 准教授
八木 規子
異文化マネジメント、
組織行動論、
質的研究手法



特任講師
山田 ひとみ
会計学、簿記



特任教授
(大学院政治政策学研究所担当)
吉川 保弘
租税法



学部長兼コミュニティ政策学科長
教授
吉田 博司
日本政治史、
日本政治思想史



総合図書館長 教授
若松 昭子
図書館情報学、
情報メディア論



広報部長 准教授
渡辺 英人
法学、法情報学、消費者
保護法、行政史研究

主な開設科目【専門科目群】

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
専門基礎科目		
キリスト教社会倫理A	松本 周/菊地 順	◎
キリスト教文化論B	松本 周/菊地 順	◎
政治学	榎本 珠良/ 宮本 悟/ 高橋 愛子/ 森 達也/ 森分 大輔	◎
	鈴木 真実哉/ 大森 達也/ 高橋 聡/ 由川 稔/ 正上 常雄	◎
	政治学系	
	Civilization & Environment	村上 公久
政治過程論	高橋 愛子	△
公共政策論	久保 善慎	△
倫理学概論	井上 兼生	△
国際政治論	宮本 悟	△
地域圏研究(アジア)	宮本 悟	△
地方自治論	佐々木 一如	△
行政学	佐々木 一如	△
国際機構論	小松崎 利明	△
環境保全論	村上 公久	△
日本政治史	吉田 博司	△
日本政治思想史	吉田 博司	△
西洋政治思想史	森分 大輔	△
社会福祉行政論	榎 伴夫	△
埼玉地域政策研究	大塚 健司	△
都市研究	未定	△
公共哲学	谷口 隆一郎	△
政治哲学	森分 大輔	△
平和学	小松崎 利明	△
法律学系		
法学	松村 芳明/ 渡辺 英人/ 木村 裕二/ 齋藤 美沙	△
法思想史	加藤 恵司	△
民法A(総則・物権)	木村 裕二	△
民法B(債権)	木村 裕二	△
民法C(親族・相続)	加藤 恵司	△
商法概論	佐藤 文彦	△
税法概論	田口 安克	△
国際法	小松崎 利明	△
憲法(統治)	松村 芳明	△
行政法	仲田 孝仁	△
EU法	倉西 雅子	△
環境法	仲田 孝仁	△
法と実務A	木村 裕二	△
法と実務B	木村 裕二	△
税務行政の現場A	野田 扇三郎	△
税務行政の現場B	野田 扇三郎	△
ミクロ経済学	中野 宏	△
マクロ経済学	由川 稔	△
金融論	鈴木 真実哉	△
財政学	正上 常雄	△
経済政策	中野 宏	△
社会保障論	宮寺 良光/高橋 聡	△
地域経済論		△
労働経済論	金子 良事	△
日本経済論	大森 達也	△
金融市場論A	柴田 武男	△
金融市場論B	柴田 武男	△
中小企業論	酒井 俊行	△
地方財政	茂住 政一郎	△
国際金融論A	柴田 武男/ 石橋 満/ 鈴木 成高/ 柳沢 真人	△

科目名	担当教員	必修/選択
経営学系		
経営学	酒井 祐太郎/ 八木 規子	△
International Business	八木 規子	△
会計学	山田 ひとみ	△
マーケティング論	T.アサモア	△
簿記(初級)	山田 ひとみ	△
組織行動論	八木 規子	△
経営管理	金子 毅	△
企業情報システム論	竹井 潔	△
経営倫理	金子 毅	△
簿記(中級)B	山田 ひとみ	△
税務・会計入門	山田 ひとみ	△
社会福祉施設経営論	榎 伴夫	△
ベンチャー・ビジネス論	関水 信和	△
経営史	金子 毅	△
国際ビジネスの現場A	柴田 武男/国際社 会貢献センターA	△
国際ビジネスの現場B	柴田 武男/国際社 会貢献センターB	△
社会学系		
社会学	加藤 敦也/ 加藤 裕康/ 新津 尚子/ 齋藤 圭介	△
環境学	村上 公久	△
地域社会論	大高 研道	△
社会心理学	中原 純	△
理論社会学	土方 透	△
家族社会学	齋藤 圭介	△
マスコミュニケーション論	鄭 鎬碩	△
社会調査論	横山 寿世理	△
現代社会論	土方 透	△
コミュニケーション学	小笠原 尚宏	△
NPO・NGO論 (国際協力)	榎本 珠良	△
NPO・NGO論 (非営利組織)	大高 研道	△
ボランティア概論	川田 虎男	△
コミュニティと フィールドワーク	庄嶋 孝広	△
地域社会と生協	大高 研道	△
ジェンダー論(女性学)	加藤 敦也	△
情報学系		
情報処理	二神 常爾	△
情報倫理	竹井 潔	△
デジタルメディア論	原島 大輔	△
法政情報論	渡辺 英人	△
情報メディア史	若松 昭子	△
情報システム論	鈴木 省吾	△
コンピュータ応用実習A	鈴木 省吾	△
コンピュータ応用実習B	二神 常爾	△
コンピュータ応用実習C	二神 常爾	△
情報通信ネットワーク論	竹井 潔	△
情報と職業	渡辺 英人	△
情報リスク論	鈴木 省吾	△
図書館情報技術論	三田市 紀子	△
情報サービス論	吉田 隆	△
情報サービス演習A	吉田 隆	△
情報サービス演習B	坂内 悟	△
その他		
秘書学概論	永井 キクヨ	△
ビジネス実務	永井 キクヨ	△
FP入門講座	田口 安克	△
法政情報基礎A	渡辺 英人	△
インディペンデント・ スタディA/B/C/D		△
政治経済学特論A (20世紀の法文化)	石川 裕一郎	△
政治経済学特論A (日本の裁判を考える)	石川 裕一郎	△

科目名	担当教員	必修/選択
政治経済学特論B (ジェンダー法)	武藤 健一	△
政治経済学特論B (ジェンダーと憲法)	武藤 健一	△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読A)	高橋 愛子	△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読B)	高橋 愛子	△
政治経済学特講 (法学)	石川 裕一郎	△
コミュニティ実習 A/B/C		△
教職専門科目		
自然地理学概説	秋山 秀一	△
人文地理学概説		△
西洋史概説A	南 祐三	△
西洋史概説B	南 祐三	△
地誌学概説A	秋山 秀一	△
地誌学概説B	秋山 秀一	△
哲学概論	大賀 祐樹	△
東洋史概説A	赤坂 恒明	△
東洋史概説B	赤坂 恒明	△
日本史概説A	松井 慎一郎	△
日本史概説B	上安 祥子	△
公務員		
公務員講座 (数的・判断推理)	吉澤 剛士	△
公務員講座 (人文・社会)	金沢 はるえ	△
公務員講座 (文章理解)	大槻 岳	△
公務員講座演習A (数的・判断推理)	吉澤 剛士	△
公務員講座演習A (人文・社会)	久保 善慎	△
公務員特講 (自治体研究A)	猪狩 廣美	△
公務員特講 (自治体研究B)	北川 嘉昭/ 阿部 忠資/ 池田 洋子/ 小林 直彦/ 五味 智子/ 松崎 保昌	△
公務員演習I	久保 善慎	△
公務員演習II	久保 善慎	△
公務員講座(専門A)	猪狩 廣美/ 渡辺 英人/ 北川 嘉昭/ 佐藤 安夫/ 米澤 貴幸/ 池田 洋子/ 小林 直彦/ 五味 智子/ 澤田 千秋	△
公務員講座(専門B)	猪狩 廣美/ 渡辺 英人/ 高梨 博和/ 阿部 忠資/ 池田 洋子/ 小林 直彦/ 五味 智子/ 澤田 千秋/ 松崎 保昌	△
社会教育主事		
生涯学習概論A	小池 茂子	△
生涯学習概論B	小池 茂子	△
社会教育計画A	安斎 聡子	△
社会教育計画B	安斎 聡子	△
社会教育課題研究A	安斎 聡子	△
社会教育課題研究B	安斎 聡子	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等のため、記載していない科目もございます。)
 ※必修、選択必修、選択科目の表記は卒業要件単位について示しています。資格取得の場合に必要な科目もあります。

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
演習科目		
予備演習A	加藤 恵司/菊地 順 /吉田 博司/宮本 悟/金子 毅/高橋 愛子/山田 ひとみ /柴田 武男/小松 崎 利明/森分 大輔 /石川 裕一郎/村 上 公久/大森 達也 /竹井 潔/渡辺 英 人/土方 透	◎
予備演習B	加藤 恵司/菊地 順 /吉田 博司/宮本 悟/金子 毅/高橋 愛子/山田 ひとみ /柴田 武男/小松 崎 利明/森分 大輔 /石川 裕一郎/村 上 公久/大森 達也 /竹井 潔/渡辺 英 人/土方 透	◎
専門演習A (環境保全論)	村上 公久	○
専門演習A (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
専門演習A (企業経済論)	柴田 武男	○
専門演習A (経営管理)	金子 毅	○
専門演習A (憲法)	石川 裕一郎	○
専門演習A (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
専門演習A (情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習A (政治過程論)	高橋 愛子	○
専門演習A (政治哲学)	森分 大輔	○
専門演習A (組織行動論)	八木 規子	○
専門演習A (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
専門演習A (地域社会論)	大高 研道	○
専門演習A (日本経済論)	大森 達也	○
専門演習A (日本政治思想史)	吉田 博司	○
専門演習A (平和学)	小松崎 利明	○
専門演習A (法思想史)	加藤 恵司	○
専門演習A (法政情報論)	渡辺 英人	○
専門演習A (まちづくり学)	平 修久	○
専門演習A (理論社会学)	土方 透	○
専門演習A (政治・経済)		○
専門演習B (環境保全論)	村上 公久	○
専門演習B (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
専門演習B (企業経済論)	柴田 武男	○
専門演習B (経営管理)	金子 毅	○
専門演習B (憲法)	石川 裕一郎	○

科目名	担当教員	必修/選択
専門演習B (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
専門演習B (情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習B (政治過程論)	高橋 愛子	○
専門演習B (政治哲学)	森分 大輔	○
専門演習B (組織行動論)	八木 規子	○
専門演習B (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
専門演習B (地域社会論)	大高 研道	○
専門演習B (日本経済論)	大森 達也	○
専門演習B (日本政治思想史)	吉田 博司	○
専門演習B (平和学)	小松崎 利明	○
専門演習B (法思想史)	加藤 恵司	○
専門演習B (法政情報論)	渡辺 英人	○
専門演習B (まちづくり学)	平 修久	○
専門演習B (理論社会学)	土方 透	○
専門演習B (政治・経済)		○
卒業研究I (環境保全論)	村上 公久	○
卒業研究I (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
卒業研究I (企業経済論)	柴田 武男	○
卒業研究I (経営管理)	金子 毅	○
卒業研究I(憲法)	石川 裕一郎	○
卒業研究I (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究I (情報倫理)	竹井 潔	○
卒業研究I (政治過程論)	高橋 愛子	○
卒業研究I (政治哲学)	森分 大輔	○
卒業研究I (組織行動論)	八木 規子	○
卒業研究I (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
卒業研究I (地域社会論)	大高 研道	○
卒業研究I (日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究I (日本政治思想史)	吉田 博司	○
卒業研究I (平和学)	小松崎 利明	○
卒業研究I (法思想史)	加藤 恵司	○
卒業研究I (法政情報論)	渡辺 英人	○
卒業研究I (まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究I (理論社会学)	土方 透	○
卒業研究I (政治・経済)		○
卒業研究II (環境保全論)	村上 公久	○

科目名	担当教員	必修/選択
卒業研究II (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
卒業研究II (企業経済論)	柴田 武男	○
卒業研究II (経営管理)	金子 毅	○
卒業研究II (憲法)	石川 裕一郎	○
卒業研究II (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究II (情報倫理)	竹井 潔	○
卒業研究II (政治過程論)	高橋 愛子	○
卒業研究II (政治哲学)	森分 大輔	○
卒業研究II (組織行動論)	八木 規子	○
卒業研究II (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
卒業研究II (地域社会論)	大高 研道	○
卒業研究II (日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究II (日本政治思想史)	吉田 博司	○
卒業研究II (平和学)	小松崎 利明	○
卒業研究II (法思想史)	加藤 恵司	○
卒業研究II (法政情報論)	渡辺 英人	○
卒業研究II (まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究II (理論社会学)	土方 透	○
卒業研究II (政治・経済)		○
卒業論文		○

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。
 ※必修、選択必修、選択科目の表記は卒業要件単位について示しています。資格取得の場合に必要な科目もあります。

欧米文化学科

基本情報

- 開設年度 1992年
- 学生数 1年次 45名
2年次 49名
3年次 46名
4年次 70名
(男112名/女98名)
2016年5月1日現在

学科目標

グローバル時代にふさわしい異文化共生を学びます。

欧米の文化や歴史だけでなく、グローバル時代に欧米社会が直面した社会問題、そこから生まれたさまざまな文化表現を学ぶことで、21世紀にふさわしい共生のあり方を身に付けていきます。

グローバルに活躍する国際人を育てます。

英語をはじめとするさまざまな外国語を学ぶだけでなく、ゼミやイベント、留学などを通じて異文化への理解を深め、またグローバル時代にふさわしい国際的な発信力を身に付けていきます。

学科概要

現代文化の共通の基礎となっている欧米文化を中心に、「グローバル文化コース」「グローバル・コミュニケーションコース」を用意することで、現代社会のなかで求められる国際的な素養や語学力を身につけ、多様な文化圏の人々と自由にコミュニケーションできる能力を養います。

特色ある学び

- 充実した初年次教育
- 英語強化プログラム
- 副専攻制度
- 人文チュートリアル制度
- 留学・海外文化研修
- 児童英語教育
- 就業力育成プログラム
- 海外企業インターンシップ

将来の活躍分野

- 流通・販売業界や出版業界
- 旅行・観光業界や航空関連業界
- 外資系企業や商社
- 中学／高校教諭、児童英語指導者
または日本語教師
- 公務員
- 大学院進学
- 留学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会
(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」
で必要科目を修得することで修了証明書取得可
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧



教授
K.O. アンダスン
英米文学(現代詩)、
英米文化



教授
氏家 理恵
英米文学、映像文化、
イギリス文化



特任講師
小川 隆夫
英語教授法、
児童英語教育



学部チャプレン
教授
E. D. オズバーン
キリスト教組織神学



教授
加曾利 実
一般言語学(比較音声学、
比較統語論)、心理言語学、
言語教授法



教授
M. サベット
英語教育、海外留学にお
ける多文化スタディ



准教授
島田 由紀
キリスト教倫理学、
現代北米キリスト教思想



学科長 教授
D. バーガー
社会言語学、語用論



特任教授
関根 清三
旧約聖書学、倫理学



助教
畠山 宗明
映像文化、視覚文化、
大衆文化



准教授
東 仁美
小学校英語教育



特任講師
村瀬 天出夫
ドイツ学、科学思想史



教授
和田 光司
フランス近世史、
宗教改革史

主な開設科目【専門科目群】

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
基礎科目群		
キリスト教文化論A		◎
キリスト教文化論B		◎
基礎ゼミA	和田 光司/ 島田 由紀/ 畠山 宗明	◎
基礎ゼミB	村瀬 天出夫/ 東 仁美/ 畠山 宗明	◎
埼玉学	清水 均/ 氏家 理恵	◎
基礎ゼミC	D.バーガー	○
基礎ゼミD	D.バーガー	○
国際社会の基礎知識	島田 由紀	○
社会人のための 表現力演習	作田 奈苗	○
異文化理解科目群		
グローバル化時代の 倫理B	島田 由紀	○
異文化理解	島田 由紀	△
多文化共生論	島田 由紀	△
国際ボランティア入門A	金沢 はるえ	△
国際ボランティア入門B	金沢 はるえ	△
観光業講座		△
ツーリズムと文化形成		△
異文化コミュニ ケーション実習	D.バーガー	△
表象文化科目群		
社会と芸術文化B	畠山 宗明	○
英米文学概論	氏家 理恵	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
翻訳文化論	氏家 理恵	△
西洋美術	瀧井 直子	△
視覚文化	畠山 宗明	△
映像文化	氏家 理恵	△
グローバル映像文化	畠山 宗明	△
ファッション学		△
表現文化実習A/B		△
Japanese Litature		△
グローバル世界科目群		
現代ヨーロッパ事情	和田 光司	△
グローバル世界の 歴史A	和田 光司	○
グローバル世界の 歴史B	南 祐三	○
ヨーロッパ文明の 形成と発展	和田 光司	△
イスラム文明	赤坂 恒明	△
イスラムと現代世界	赤坂 恒明	△
言語とグローバル社会	D.バーガー	△
マスコミケーション論		△
グローバル文化特論	村瀬 天出夫	△
グローバル文化 フィールド実習		△
Japanese History		△
コミュニケーション科目群		
TOEIC(初級)A	東 仁美	△
TOEIC(初級)B	森 容子	△
TOEIC(中級)A	澁井 とし子	△
TOEIC(中級)B	森 容子	△
TOEFL B	櫻井 智美	△
映画を通して学ぶ 文化と英語	森 容子	△
音楽を通して学ぶ 文化と英語	K.O.アングラスン	△
英語スピーチ発音法	加曾利 実	△
就職に役立つ基礎英語	小川 隆夫	△
職場で役立つ基礎英語	櫻井 智美	△
Academic Listening & Speaking	K.O.アングラスン	△

科目名	担当教員	必修/選択
College Reading Skills	D.バーガー	△
College Writing Skills	K.O.アングラスン	△
Speech & Debate A	M.サベット	△
Speech & Debate B	M.サベット	△
現代英文法	小川 隆夫	△
言語学概論	D.バーガー	△
英語学概論	加曾利 実	△
英語音声学	加曾利 実	△
フランス語(総合)	塩谷 祐人/ 石田 明夫	△
フランス語コミュニ ケーションA(総合)	F.ルテュール	△
ドイツ語(総合)	小谷 哲夫/ 清水 威能子	△
英語教育科目群		
教えるための英文法	阿字 宏康	△
児童英語教育 (理論)	東 仁美	△
児童英語教育 (カリキュラム・デザイン)	澁井 とし子	△
児童英語教育 (ワークショップA)	A.クラウス	△
児童英語教育 (ワークショップB)	小川 隆夫	△
児童英語教育 (インターンシップI)	東 仁美	△
児童英語教育 (インターンシップII)	東 仁美	△
関連科目群		
レポート作成法	未定	△
インディペンデント・ スタディA/B/C/D	未定	△
海外研修 A/B/C/D	未定	△
欧米文化学特論	清水 正之	△
ヨーロッパ思想の源流	関根 清三	△
演習科目		
専門演習 (キリスト教文化)I	E.D.オズバーン	○
専門演習 (キリスト教文化)II	E.D.オズバーン	○
専門演習 (ヨーロッパ史)I	和田 光司	○
専門演習 (ヨーロッパ史)II	和田 光司	○
専門演習 (英米文学)I	氏家 理恵	○
専門演習 (英米文学)II	氏家 理恵	○
専門演習 (Pop Culture)II	K.O.アングラスン	○
専門演習 (多文化共生論)I	島田 由紀	○
専門演習 (映像文化)I	畠山 宗明	○
専門演習 (言語と社会)I	D.バーガー	○
専門演習 (言語と社会)II	D.バーガー	○
専門演習 (英語学)I	加曾利 実	○
専門演習 (英語学)II	加曾利 実	○
専門演習 (国際理解)I	M.サベット	○
専門演習 (国際理解)II	M.サベット	○
専門演習 (児童英語教育)I	東 仁美	○

科目名	担当教員	必修/選択
専門演習 (児童英語教育)II	東 仁美	○
専門演習 (欧米文化)		○
卒業研究 (キリスト教文化)I	E.D.オズバーン	○
卒業研究 (キリスト教文化)II	E.D.オズバーン	○
卒業研究 (ヨーロッパ史)I	和田 光司	○
卒業研究 (ヨーロッパ史)II	和田 光司	○
卒業研究 (英米文学)I	氏家 理恵	○
卒業研究 (英米文学)II	氏家 理恵	○
卒業研究 (Pop Culture)II	K.O.アングラスン	○
卒業研究 (多文化共生論)I	島田 由紀	○
卒業研究 (映像文化)I	畠山 宗明	○
卒業研究 (言語と社会)I	D.バーガー	○
卒業研究 (言語と社会)II	D.バーガー	○
卒業研究 (英語学)I	加曾利 実	○
卒業研究 (英語学)II	加曾利 実	○
卒業研究 (国際理解)I	M.サベット	○
卒業研究 (国際理解)II	M.サベット	○
卒業研究 (児童英語教育)I	東 仁美	○
卒業研究 (児童英語教育)II	東 仁美	○
卒業論文		○

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載していません)。

日本文化学科

基本情報

- 開設年度 1998年
- 学生数 1年次 75名
2年次 62名
3年次 82名
4年次 92名
(男194名/女117名)
2016年5月1日現在

学科目標

- 自分に秘められた才能と出会う多彩なカリキュラムを設置し、少人数の教育によって、その能力の開発に努めます。
- 日本語表現のエキスパートとして、社会で活躍できる人材を育成します。
- 教員志望、司書教諭志望者には、十分な支援体制を整え、現役での教員採用試験合格を目指します。
- 日本文化学科として学会誌を毎年発行しており、優れた卒業論文を活字化するなど、大学院進学に向けた、より専門的な指導も行います。

学科概要

日本文化をグローバルな視点からとらえ直すことを目的に、文学・語学・歴史・思想・文化論・比較文化の3つを柱に多面的に学びます。伝統文化だけでなく、ポップカルチャーなどの現代若者文化も探求します。

特色ある学び

- 埼玉学 地域と芸術文化
- 日本語に強い人材の育成
- アセンブリアワーにおける多彩なプログラム
- ライフデザイン・良く生きる
- 体験と実践を重視したカリキュラム
- 教員採用試験突破システム

将来の活躍分野

- 各種図書館司書・司書教諭
- 中学・高校の国語教諭
- 日本語教師
- 企業・団体(営業、事務、企画、サービスなど)
- 福祉施設
- 大学院進学
- 出版・印刷業
- 文化教育機関職員
- 留学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- 中学校教諭一種免許状(国語)
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- 社会調査士

専任教員一覧



教授
川口 さち子
日本語教育(教授法、教師養成、文法指導)、対照研究(日仏・日中・日韓)



准教授
木下 綾子
平安文学(物語・漢詩文)



教授
熊谷 芳郎
国語科教育



准教授
黒崎 佐仁子
日本語教育、多文化共生



教授
小林 茂之
歴史言語学、生成言語学、認知言語学、言語史



副学長 人文学部長兼アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所長
字部長 教授
清水 均
日本近現代文学、日本近現代文化



学生部長 教授
濱田 寛
平安朝日本漢文学、和漢比較文学



准教授
松井 慎一郎
日本近代史



学科長 教授
村松 晋
近代日本思想史、精神史



字部チャプレン 准教授
柳田 洋夫
日本倫理思想史、キリスト教倫理、日本プロテスタント思想史



広報部副部長 准教授
横山 寿世理
自我の社会学、記憶の社会学、社会学理論

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修/選択
学科基礎科目		
キリスト教文化論A	E.D.オズバーン/ 柳田洋夫	◎
キリスト教文化論B	E.D.オズバーン/ 柳田洋夫	◎
埼玉学	清水 均/ 氏家 理恵	◎
日本文化概論	村松 晋	◎
ライフデザイン・ 良く生きるA	清水 均	◎
ライフデザイン・ 良く生きるB	清水 均	◎
文章表現法	太田 ミユキ/ 副田 恵/ 坂巻 理恵子	◎
日本語学概説	小林 茂之	○
日本文学概説	木下 綾子	○
日本史概説A	松井 慎一郎	○
日本史概説B	上安 祥子	○
日本語教育概論	北村 淳子	○
古典読解A	網本 尚子	○
日本思想入門	村松 晋	○
日本文化入門	寺田 詩麻	○
相関文化	村松 晋	○
地域と芸術文化	清水 均	○
日本の芸能・工芸B	茂山 千三郎	○
日本の芸能・工芸C	山田 理映	○
日本の芸能・工芸D	金原亭馬治	○
放送文化	川野 一宇	○
ナレーション	川野 一宇	○
身体と表現	清水 均	○
文芸(創作)A	藤田 のぼる	○
文芸(創作)B	佐賀賀 直美	○
日本語表現法 (ディベート)	近藤 聡	○
書道	小室 陽子	○
国際交流と多文化共生	黒崎 佐仁子	○
海外文化交流研修 (アジア)A	村松 晋	○
文化論・比較文化系		
日本の演劇	寺田 詩麻	△
日本の美術	佐伯 英里子	△
映像文化	氏家 理恵	△
グローバル映像文化	畠山 宗明	△
女性学	藤田 和美	△
こどもと文化	寺崎 恵子	△
異文化間 コミュニケーション	鄭 鎬碩	△
社会調査入門	横山 寿世理	△
社会調査の方法	横山 寿世理	△
社会統計学の基礎	柳瀬 公	△
量的データ解析の方法	柳瀬 公	△
社会調査実践I	横山 寿世理	△
社会調査実践II	横山 寿世理	△
翻訳文化論	氏家 理恵	△
文化人類学	中空 萌	△
韓国文化演習	村松 晋	△
文学・語学系		
日本文学史 (上代・中古)	木下 綾子	△
日本文学史 (中世・近世)	家永 香織	△
日本文学史(近現代)	前田 潤	△
日本文学研究と批評 (古典1)	渡辺 正人	△
日本文学研究と批評 (古典2)	木下 綾子	△
日本文学研究と批評 (近現代1)	佐藤 ゆかり	△
児童文学	藤田 のぼる	△
対照言語学	文 智暎	△

科目名	担当教員	必修/選択
言語文化論	小林 茂之	△
古典日本語I	上宇都ゆりほ	△
古典日本語II	渡辺 正人	△
中国文学	濱田 寛	△
訓読学	林 教子	△
日本語学(文法)A	黒崎 佐仁子	△
日本語学(文法)B	黒崎 佐仁子	△
日本語学(音声・音韻)A	柳橋 明美	△
日本語学(音声・音韻)B	柳橋 明美	△
言語使用と社会	内藤 みち	△
韓国語コミュニケーション	溝口 カブスン	△
中国語コミュニケーション	関 子謙	△
日本語教授法講義	川口 さち子	△
日本語教授法演習	作田 奈苗	△
日本語教育実習	黒崎 佐仁子	△
日本語教材・教具論	作田 奈苗	△
言語とグローバル社会		△
日本文学特殊講義①	家永 香織	△
日本文学特殊講義②	前田 潤	△
Theory of Language & Culture		△
Japanese Literature		△
歴史・思想系		
日本史の研究 (古代史特論)	稲田 奈津子	△
日本史の研究 (中世史特論)	伊川 健二	△
日本史の研究 (近世史特論)	上安 祥子	△
日本史の研究 (近代史特論)	松井 慎一郎	△
日本史の研究 (現代史特論)	松井 慎一郎	△
日本の思想(儒教)	上安 祥子	△
日本の思想(仏教)	高山 秀嗣	△
日本の思想(キリスト教)	村松 晋	△
比較宗教学	芦名 裕子	△
中国思想	大坊 真伸	△
日本史特殊講義	松井 慎一郎	△
日本思想特殊講義	村松 晋	△
Japanese History		△
応用科目		
教えるための現代文B	熊谷 芳郎	△
教えるための古典I	木下 綾子/濱田 寛	△
教えるための古典II	木下 綾子/濱田 寛	△
教えるための古典III	濱田 寛/木下 綾子	△
教えるための古典IV	濱田 寛/木下 綾子	△
インディペンデント・ スタディA/B/C/D		△
修了科目		
卒業レポートA(言語①)	小林 茂之	○
卒業レポートA(言語②)	川口 さち子/ 小林 茂之	○
卒業レポートA (比較文化アジア②)	濱田 寛	○
卒業レポートA(歴史①)	東島 誠	○
卒業レポートA(思想①)	清水 正之	○
卒業レポートA(思想②)	村松 晋	○
卒業レポートA(思想③)	柳田 洋夫	○
卒業レポートA (近現代文化①)	清水 均	○
卒業レポートA (近現代文化②)	熊谷 芳郎	○
卒業レポートB(言語①)	小林 茂之	○
卒業レポートB(言語②)	川口 さち子	○
卒業レポートB (比較文化アジア②)	濱田 寛	○
卒業レポートB(歴史①)	東島 誠	○
卒業レポートB(思想①)	清水 正之	○
卒業レポートB(思想②)	村松 晋	○
卒業レポートB(思想③)	柳田 洋夫	○

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
卒業レポートB (近現代文化①)	清水 均	○
卒業論文		△
演習科目		
専門演習I(言語①)	小林 茂之	○
専門演習I(言語③)	黒崎 佐仁子	○
専門演習I(比較文化③)	濱田 寛	○
専門演習I(文学①)	木下 綾子	○
専門演習I(文学①)	木下 綾子	○
専門演習I(歴史・思想②)	松井 慎一郎	○
専門演習I(歴史・思想④)	村松 晋	○
専門演習I(歴史・思想⑤)	柳田 洋夫	○
専門演習I(文化①)	横山 寿世理	○
専門演習I(文化③)	清水 均	○
専門演習I(文化④)	熊谷 芳郎	○
専門演習II(言語①)	小林 茂之	○
専門演習II(言語③)	黒崎 佐仁子	○
専門演習II(歴史②)	松井 慎一郎	○
専門演習II(歴史・思想④)	村松 晋	○
専門演習II(歴史・思想⑤)	柳田 洋夫	○
専門演習II(文化③)	清水 均	○
専門演習II(文化④)	熊谷 芳郎	○
専門演習II(比較文化③)	濱田 寛	○
専門演習II(文学①)	木下 綾子	○
専門演習II(文化①)	横山 寿世理	○
卒業研究 (比較文化 アジア②)I	濱田 寛	○
卒業研究(言語①)I	小林 茂之	○
卒業研究(言語①)II	小林 茂之	○
卒業研究 (比較文化 アジア②)II	濱田 寛	○
卒業研究(言語③)I	黒崎 佐仁子	○
卒業研究(言語③)II	黒崎 佐仁子	○
卒業研究(古典文学①)I	木下 綾子	○
卒業研究(古典文学①)II	木下 綾子	○
卒業研究(歴史①)I	東島 誠	○
卒業研究(歴史①)II	東島 誠	○
卒業研究(歴史②)I	松井 慎一郎	○
卒業研究(歴史②)II	松井 慎一郎	○
卒業研究(思想②)I	村松 晋	○
卒業研究(思想②)II	村松 晋	○
卒業研究(思想③)I	柳田 洋夫	○
卒業研究(思想③)II	柳田 洋夫	○
卒業研究(近現代文化①)I	清水 均	○
卒業研究(近現代文化①)II	清水 均	○
卒業研究(近現代文化②)I	熊谷 芳郎	○
卒業研究(近現代文化②)II	熊谷 芳郎	○
卒業研究(近現代文化③)I	横山 寿世理	○
卒業研究(近現代文化③)II	横山 寿世理	○

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

児童学科

基本情報

- 開設年度 1992年
- 学生数 1年次 60名
2年次 97名
3年次 96名
4年次 106名
(男153名/女206名)
2016年5月1日現在

学科目標

子どもに寄り添いながらその思いを深く理解して、
子どもの育ちにふさわしい環境をつくっていく実践者を育てます。

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得し、
子どもとその家族のよきパートナーとなる専門家を育てます。

児童学を学んで、互いに尊重して関わりあう能力を培い、
責任感のある社会人に育てます。

児童学科全体の就職志望者の就職率95.6%の実績があります。
2015年度の児童学科卒業生の中から、13名が小学校の教壇に立つことになりました(正規採用9名、臨時採用等4名含む)。

学科概要

保育・教育、心理、文化、福祉、キリスト教教育の5領域から児童学を学び、人間として育つことについて深く考えます。
小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の資格取得に向けた専門性を養うとともに、子どもと大人との関係を探求する力を育てます。

特色ある学び

- 保育実習
- 教育実習
- 教職演習
(教員採用試験対策講座)
- アセンブリアワー
- 海外実習(聖学院アトランタ
国際学校[SAINTS])
- おもちゃインストラクター
養成講座

将来の活躍分野

- 小学校教諭
- 幼稚園教諭
- 保育士
- 大学院進学
- 一般企業
- 公務員

取得可能な資格

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- 小学校教諭一種免許状
- 学校図書館司書教諭資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、
必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導
員」として勤務する際に必要となる資格
- 図書館司書資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- おもちゃインストラクター
※NPO法人日本グッド・トイ委員会認定資格

専任教員一覧



教授
相川 徳孝
幼児教育、保育実践論



特任講師
市村 和子
初等国語科教育、
生活科教育



教授
鎌原 雅彦
教育心理学



特任講師
川瀬 敏行
初等社会科教育



国際部長 教授
喜田 敬
フラインアート



副学部長兼学科長代行 教授
小池 茂子
生涯学習、社会教育



特任講師
齋藤 範雄
算数数学教育



特任講師
坂本 佳代子
障害児保育



准教授
佐藤 千瀬
異文化間教育、幼児教育



学長補佐 教授
田澤 薫
児童学、児童福祉



准教授
寺崎 恵子
教育学、教育文化



助教
広瀬 歩美
子どもの食と栄養



教授
松本 祐子
児童文学、英文学



特任講師
丸山 綱男
理科教育



学科長 教授
聖学院小学校長
村山 順吉
ピアノ演奏、音楽創造論、
音楽教育学



学部チャプレン 特任教授
女子聖学院中学校高等学校
山口 博
組織神学、
キリスト教教育

主な開設科目【専門科目群】

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
共通基本科目		
キリスト教人間学A	阿部 洋治／久保島 理恵	◎
キリスト教人間学B	阿部 洋治／久保島 理恵	◎
児童学概論	田澤 薫	◎
教職基礎	松本 祐子／小池 茂子	△
教職演習A	川瀬 敏行	△
教職演習B	齋藤 範雄	△
教職演習C	市村 和子	△
教職演習E	齋藤 範雄	△
教職演習F	丸山 綱男	△
教職演習G	市村 和子	△
人間福祉の探求	古谷野 亘	△
海外実習(SAINTS)	佐藤 千瀬	△
フィールドワーク	相川 徳孝／市村 和子／松本 祐子	△
児童学海外研修	佐藤 千瀬	△
児童文化系統		
児童文化論A	田澤 薫	◎
児童文化論B	寺崎 恵子	◎
絵本文化論	上原 里佳	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
おもちゃ論	中村 輝美	△
児童英語教材研究A	東 仁美	△
児童英語教材研究B	小川 隆夫	△
異文化間教育	佐藤 千瀬	△
心理学系統		
教育心理学	鎌原 雅彦	△
教育心理学特論	鎌原 雅彦	△
発達心理学	徳井 千里	△
教育相談(カウンセリングを含む。)	鎌原 雅彦	△
教育学系統		
教育原理	寺崎 恵子	◎
キリスト教保育論	田中 かおる	△
教育社会学	御手洗 明佳	△
学校と教育の歴史	石津 靖大	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△
福祉・教育関連系統		
社会福祉	本多 勇	△
相談援助	笹刈 悟	△
児童家庭福祉	田澤 薫	△
保育原理	寺崎 恵子	△
社会的養護	坂本 佳代子	△
乳児保育A	岸澤 藤子	△
乳児保育B	田村 すずか	△
社会的養護内容	笹刈 悟	△
保育相談支援	上野 直子	△
障害児保育A	坂本 佳代子	△
障害児保育B	田村 すずか	△
子どもの保健A	小林 京子	△
子どもの保健B	平田 美佳／平田 倫生	△
子どもの保健演習	藤城 富美子	△
家庭支援論	佐藤 千瀬	△
子どもの食と栄養A	広瀬 歩美	△
子どもの食と栄養B	広瀬 歩美	△
地域福祉論	牛津 信忠	△
教育関連科目		
児童文学	松本 祐子／小室 陽子	△
社会	川瀬 敏行	△
算数	齋藤 範雄	△
理科	丸山 綱男	△
生活	市村 和子	△
家庭	馬場 由子／広瀬 歩美	△

科目名	担当教員	必修/選択
音楽・器楽A	池上 真理子／阪まどか／笠井 かほる／渋谷 みどり／塚原 晴美／島崎 美知子	△
音楽・器楽B	池上 真理子／阪まどか／笠井 かほる／渋谷 みどり／塚原 晴美／島崎 美知子	△
音楽・合奏指導G	山田 裕治	△
音楽・ハンドベルD	本田 晃	△
図画工作A	喜田 敬	△
図画工作B	喜田 敬	△
体育A	高橋 進	△
体育B	高橋 進	△
音楽A	山田 裕治／渋谷 みどり／塚原 晴美／池上 真理子／阪まどか	△
音楽B	井口 太	△
教師論(小)	小川 隆夫	△
教師論(幼保)	佐藤 千瀬	△
保育実践演習A	松本 祐子	△
保育実践演習B	丸山 綱男	△
保育・教職実践演習(初等)(幼)	鎌原 雅彦／川瀬 敏行	△
教育・保育課程論		△
保育内容総論	相川 徳孝	△
保育内容の研究・健康	鈴木 明	△
保育内容の研究・人間関係	横井 紘子	△
保育内容の研究・環境	丸山 綱男	△
保育内容の研究・言葉	上野 直子	△
保育内容の研究・表現A	相川 徳孝	△
保育内容の研究・表現B	柴田 和豊	△
幼児指導法の研究	田澤 薫	△
教育課程論	川瀬 敏行	△
初等社会科教育法	川瀬 敏行	△
算数科教育法	齋藤 範雄	△
理科教育法	丸山 綱男	△
生活科教育法	市村 和子	△
音楽科教育法	笠井 かほる	△
図画工作科教育法	柴田 和豊	△
家庭科教育法	馬場 由子	△
体育科教育法	鈴木 直樹	△
道徳教育の研究	市村 和子	△
特別活動の理論と方法	丸山 綱男／小池 茂子	△
教育方法論	市村 和子／齋藤 範雄	△
生徒指導論(進路指導を含む。)	小川 隆夫	△
基礎実習	相川 徳孝／齋藤 範雄	△
幼稚園教育実習	相川 徳孝／佐藤 千瀬	△
保育実習	坂本 佳代子／広瀬 歩美	△
保育実習指導	広瀬 歩美／坂本 佳代子	△
保育実習A	佐藤 千瀬	△
保育実習B	坂本 佳代子	△
保育実習指導A	佐藤 千瀬	△
保育実習指導B	坂本 佳代子	△
小学校教育実習	川瀬 敏行／市村 和子／齋藤 範雄	△
介護等体験及び事前事後指導	吉田 昌義／高山 法子	△
学校経営と学校図書館	小川 三和子	△
学校図書館メディアの構成	若松 昭子	△
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	△
読書と豊かな人間性	小川 三和子	△

科目名	担当教員	必修/選択
情報メディアの活用	長谷川 幸代	△
演習科目		
専門演習(児童学I)	田澤 薫	○
専門演習(児童学II)	田澤 薫	○
専門演習(キリスト教幼児教育II)	山口 博	○
専門演習(造形教育論I)	喜田 敬	○
専門演習(造形教育論II)	喜田 敬	○
専門演習(保育実践論I)	相川 徳孝	○
専門演習(保育実践論II)	相川 徳孝	○
専門演習(児童福祉実践論II)	坂本 佳代子	○
専門演習(異文化間教育I)	佐藤 千瀬	○
専門演習(異文化間教育II)	佐藤 千瀬	○
専門演習(教育文化論I)	寺崎 恵子	○
専門演習(教育文化論II)	寺崎 恵子	○
専門演習(生涯学習I)	小池 茂子	○
専門演習(生涯学習II)	小池 茂子	○
専門演習(教育心理学I)	鎌原 雅彦	○
専門演習(教育心理学II)	鎌原 雅彦	○
専門演習(児童学I)	松本 祐子	○
専門演習(児童学II)	松本 祐子	○
専門演習(社会科I)	川瀬 敏行	○
専門演習(社会科II)	川瀬 敏行	○
専門演習(栄養教育I)	広瀬 歩美	○
専門演習(栄養教育II)	広瀬 歩美	○
卒業研究(児童学I)	田澤 薫	○
卒業研究(児童学II)	田澤 薫	○
卒業研究(キリスト教幼児教育I)	山口 博	○
卒業研究(キリスト教幼児教育II)	山口 博	○
卒業研究(造形教育論I)	喜田 敬	○
卒業研究(造形教育論II)	喜田 敬	○
卒業研究(保育実践論I)	相川 徳孝	○
卒業研究(保育実践論II)	相川 徳孝	○
卒業研究(児童福祉実践論I)	坂本 佳代子	○
卒業研究(児童福祉実践論II)	坂本 佳代子	○
卒業研究(異文化間教育I)	佐藤 千瀬	○
卒業研究(異文化間教育II)	佐藤 千瀬	○
卒業研究(教育文化論I)	寺崎 恵子	○
卒業研究(教育文化論II)	寺崎 恵子	○
卒業研究(生涯学習I)	小池 茂子	○
卒業研究(生涯学習II)	小池 茂子	○
卒業研究(教育心理学I)	鎌原 雅彦	○
卒業研究(教育心理学II)	鎌原 雅彦	○
卒業研究(児童学I)	松本 祐子	○
卒業研究(児童学II)	松本 祐子	○
卒業研究(社会科I)	川瀬 敏行	○
卒業研究(社会科II)	川瀬 敏行	○
卒業研究(栄養教育I)	広瀬 歩美	○
卒業研究(栄養教育II)	広瀬 歩美	○
卒業論文		△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載していません)。

こども心理学科

基本情報

- 開設年度 2012年
- 学生数 1年次 28名
2年次 40名
3年次 57名
4年次 64名
(男82名/女107名)
2016年5月1日現在

学科目標

心理学の基礎を学び、人々、特にこどもの心のケア・サポートのできる実践者を育てます。

心理学の学びの中心にはカウンセリング(臨床心理学)があります。そこでは実務経験豊かな教員から実践のための知恵を学ぶことができます。また、スピリチュアルケアをベースに、援助の心構えを学び、人に寄り添う力を養います。

健康学の基礎を学ぶことによって、からだと心の関係を理解し、こどもの発育発達に貢献できる人材を育てます。

こども心理学科では、健康学の学習を重視しています。からだのつくりや働きを学ぶことによって、人の心の理解が深まるからです。からだとは心は密接に関係していることを理解することによって、心のケア・サポートが可能になるからです。

学科の学びやボランティア活動を重視し、広い視野でものを見る力を養い、社会や地域で貢献できる人材を育てます。

心理-健康-環境文化が学科の学習の中心です。広い分野の学習が、人やものを見る力を養います。また、学科ではボランティア学などを開講し、ボランティア活動を重要視しています。様々なボランティア活動を通して、人間の成長をとげるとともに、社会や地域の人々に貢献できる力を育てることができます。

学科概要

こころ、からだ、環境・文化・思想の3つの柱から、こどもについて学びます。こどもから青年期にかけての成長の過程で、さまざまな心身の問題を抱える場合がありますが、そうした問題に対して理解を深め、ケアできる力を養います。

特色ある学び

- こども心理概論
- インターンシップ
- アセンブリアワー
- ボランティア活動

将来の活躍分野

- 特別支援学校教員
- 学童保育指導員
- 児童館職員
- 公務員
- 一般企業
- 心理学の専門家
(病院/学校/福祉施設/一般企業での
心理カウンセリング/相談業務)
※臨床心理士など資格取得のためには大学院進学が必要
- 大学院進学

取得可能な資格

- 特別支援学校教諭一種免許状
- 高等学校教諭一種免許状(保健)
- 中学校教諭一種免許状(保健)
- 認定心理士
※日本心理学会が認定する資格
- 図書館司書資格
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導員」として勤務する際に必要となる資格
- 児童福祉司任用資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- こどもパートナー
※教育支援人材認証協会が認証する資格

専任教員一覧



特任教授
石津 靖大
教育学(日本教育史)



助教
井上 知洋
障害児心理学、
認知神経心理学



特任講師
大橋 良枝
精神分析の心理療法、
集団精神療法



教授
金谷 京子
臨床発達心理学、
教育心理学、特別支援教育



准教授
齊藤 理砂子
小児保健学、学校保健、
ヘルスプロモーション



准教授
竹淵 香織
臨床心理学、学生相談



特任教授
中村 啓男
衛生学、公衆衛生学、
予防医学、環境保健



教授
原 一子
倫理学、ヨーロッパ文化学



准教授
藤掛 明
臨床心理学、心理テスト、
アートセラピー



准教授
村上 純子
家族心理学



特任教授
吉田 昌義
特別支援教育(知的障害・
発達障害)



学科長 教授
和田 雅史
健康教育学、
学校保健学



学長補佐(基礎総合教育部
長兼務) 教授
渡邊 正人
古代文学、考古学

主な開設科目【専門科目群】

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
共通基本科目		
キリスト教人間学A	阿部 洋治／久保島 理恵	◎
キリスト教人間学B	阿部 洋治／久保島 理恵	◎
こども心理総論A	渡辺 正人	◎
こども心理総論B	渡辺 正人／原 一子／石津 靖大／中村 啓男／竹淵 香織／大橋 良枝／吉田 昌義	◎
スピリチュアルケア入門	伊能 忠嗣	◎
心理学概論	村上 純子	◎
こども学	金谷 京子	◎
児童心理学	金谷 京子	◎
発達心理学概論	金谷 京子	◎
グループケア入門	関 正勝	◎
倫理学A	原 一子	△
倫理学B	原 一子	△
ボランティア論	渡辺 正人／助川 征雄	○
ボランティア実践論	渡辺 正人／助川 征雄	○
家族心理学	村上 純子	○
スピリチュアルケア論B	伊能 忠嗣	○
きょうだい支援	村上 純子	○
人間行動学実験実習	水谷 勉／屋沢 萌	○
応用行動分析入門	金谷 京子	○
心理学系		
心理学研究法	大橋 良枝	◎
心理学実験実習A	大橋 良枝／小橋 眞理子	◎
心理学実験実習B	大橋 良枝／水谷 勉	◎
臨床心理学概論	竹淵 香織	◎
健康心理学	村上 純子	◎
教育心理学	金谷 京子	◎
障害児(者)心理学	小島 進生	◎
青年心理学	藤掛 明	○
教育心理学	金谷 京子	○
適応の心理	竹淵 香織	○
産業心理学	大橋 良枝	○
認知心理学	石岡 良子	○
非行の心理	藤掛 明	○
神経心理学	佐久間 隆介	○
社会心理学	西村 洋一	○
心理療法	藤掛 明	○
児童臨床心理学	村上 純子	○
教育測定・評価法	大橋 良枝	○
心理学実験を対象としたコンピュータ実習	渡辺 正人	○
心理検査実習	水谷 勉	○
情報処理演習A	渡辺 正人	○
情報処理演習B	渡辺 正人	○
知的障害児の心理	今中 博章／小島 進生	○
肢体不自由児の心理・生理・病理	川間 健之介	○
病弱児の心理・生理・病理／病弱児の心理	岡澤 慎一／竹田 一則	○
情緒障害児の心理	吉井 勘人	○
健康学系		
体のしくみ・働き	小島 龍平	◎
チャイルドライフ・ケア	齊藤 理砂子／中村 啓男／金谷 京子／和田 雅史	◎
ヘルス・プロモーション	齊藤 理砂子	◎
栄養学(食品学を含む。)	大江 敏江	◎
小児保健学	齊藤 理砂子	◎
救急処置並びに実習	齊藤 理砂子	◎
環境衛生学	中村 啓男	◎
精神保健学	助川 征雄	◎
健康科学	和田 雅史	◎

科目名	担当教員	必修/選択
免疫学・微生物学	一幡 良利	◎
病と健康の科学	中村 啓男	◎
公衆衛生学(予防医学を含む。)	中村 啓男	◎
学校保健概論(安全を含む。)	齊藤 理砂子	△
知的障害児の生理・病理	勝二 博亮／舟橋 敬一	△
保健科教育法I	藤田 和也	△
保健科教育法II	藤田 和也	△
保健科教育法III	藤田 和也	△
保健科教育法IV	藤田 和也	△
環境・文化系		
障害児教育総論	吉田 昌義／岡澤 慎一／金澤 貴之／川間 健之介／永井 伸幸／米田 宏樹	◎
世界のこども	寺崎 恵子	○
日本文化学	渡辺 正人	○
ヨーロッパ文化学	原 一子	○
見るアート	喜田 敬	△
触れるアート	喜田 敬	△
食の文化	島崎 とみ子	△
こどもの危機対応	金谷 京子	△
こども国際協力	田島 伸二	△
教師論		△
教師論	井上 兼生	△
教育原理	井上 兼生	△
学校と教育の歴史	石津 靖大	△
教育社会学	御手洗 明佳	△
教育課程論	小川 洋／川瀬 敏行	△
道徳教育指導法	秋池 功	△
特別活動の理論と方法	中沢 辰夫	△
教育方法論	井上 兼生	△
生徒指導論(進路指導を含む。)	井上 兼生	△
介護等体験及び事前事後指導	吉田 昌義／高山 法子	△
福祉学概論	牛津 信忠	△
教育学	石津 靖大	△
聴覚障害児の教育総論	金澤 貴之	△
視覚障害児の教育総論	永井 伸幸	△
知的障害児指導法	吉田 昌義／吉井 勘人	△
障害児療育論／障害児指導法	鈴木 晴子	△
病弱児指導法	八島 猛	△
肢体不自由児指導法	春木 豊	△
発達障害児の教育総論	石川 由美子／今中 博章	△
学校経営と学校図書館	小川 三和子	△
学校図書館メディアの構成	若松 昭子	△
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	△
読書と豊かな人間性	小川 三和子	△
情報メディアの活用	長谷川 幸代	△
インディペンデント・スタジアムA		△
インディペンデント・スタジアムB		△
海外研修		△
演習科目		
専門演習I(発達心理学)	金谷 京子	○
専門演習I(相談心理学)	竹淵 香織	○
専門演習I(家族心理学)	村上 純子	○
専門演習I(心理療法)	大橋 良枝	○
専門演習I(小児保健学)	齊藤 理砂子	○

科目名	担当教員	必修/選択
専門演習I(倫理学)	原 一子	○
専門演習I(日本文化学)	渡辺 正人	○
専門演習I(学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
専門演習II(発達心理学)	金谷 京子	○
専門演習II(相談心理学)	竹淵 香織	○
専門演習II(家族心理学)	村上 純子	○
専門演習II(心理療法)	大橋 良枝	○
専門演習II(倫理学)	原 一子	○
専門演習II(日本文化学)	渡辺 正人	○
専門演習II(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
専門演習II(学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業研究I(発達心理学)	金谷 京子	○
卒業研究I(相談心理学)	竹淵 香織	○
卒業研究I(家族心理学)	村上 純子	○
卒業研究I(心理療法)	大橋 良枝	○
卒業研究I(小児保健学)	齊藤 理砂子	○
卒業研究I(倫理学)	原 一子	○
卒業研究I(日本文化学)	渡辺 正人	○
卒業研究I(学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業研究II(発達心理学)	金谷 京子	○
卒業研究II(相談心理学)	竹淵 香織	○
卒業研究II(家族心理学)	村上 純子	○
卒業研究II(心理療法)	大橋 良枝	○
卒業研究II(倫理学)	原 一子	○
卒業研究II(日本文化学)	渡辺 正人	○
卒業研究II(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
卒業研究II(学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業演習		△
卒業論文		△
教育実践演習(中等)		△
実習科目		
中学校教育実習		△
高等学校教育実習		△
特別支援教育実習		△

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています。
※今年度未開講の科目も一部掲載しております。

人間福祉学科

基本情報

- 開設年度 1998年
- 学生数 1年次 30名
2年次 64名
3年次 75名
4年次 86名
(男148名/女107名)
2016年5月1日現在

福祉の心と深い専門知識をもった人材を養成します

「人の役に立ちたい」という福祉の心を基盤に、人を支え、豊かな人間関係を育み、福祉社会の実現に貢献できる人材を育てます。

学科目標

社会を見つめる広い視野と深い人間理解をもとに、さまざまな職場で活躍できる職業人を養成します

人と社会に関する学びを基本に心理学の知識と技術を活かして、コミュニケーション能力に優れた職業人を育てます。

これからの福祉社会で求められる

「現場に強い」実践力のあるスペシャリストを養成します

少人数教育による質の高い福祉教育を提供し、実践力のある福祉専門職(ソーシャルワーカー)を育てます。

学科概要

人と社会、福祉、心理の3つの柱から人間そのものを学びます。同じ社会の一員として尊重し支え合う「福祉のこころ」を育て、新しい福祉社会のあり方を探っていきます。福祉系資格の取得も積極的にバックアップしています。

特色ある学び

- 現代社会と福祉
- 高齢社会論
- スクールソーシャルワーク論
- 社会心理学
- カウンセリング論

将来の活躍分野

- 地方自治体
- 福祉施設・福祉機関
- 病院
- 学校
- 教育機関
(高校教諭・スクールソーシャルワーカーなど)
- 一般企業・福祉関連企業
- 公務員
- NPO・NGO
- 大学院進学

取得可能な資格

- 社会福祉士(国家試験受験資格)
- 精神保健福祉士(国家試験受験資格)
- 高等学校教諭一種(福祉)
- 認定心理士
※日本心理学会が認定する資格
- 社会教育主事任用資格
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導員」として勤務する際に必要となる資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可

専任教員一覧



教授
相川 章子
精神保健福祉、
ソーシャルワーク



学部チャレン 教授
阿部 洋治
キリスト教人間学、
キリスト教教育



准教授
木下 大生
障害者福祉、
ソーシャルワーク



学部長兼人間福祉学研究科長
教授
古谷野 巨
社会老年学、調査研究法



学生部副部長 教授
田村 綾子
精神保健福祉、
ソーシャルワーク



学科長 教授
中谷 茂一
子ども家庭福祉、
家族社会学



准教授
中原 純
社会心理学、老年心理学



特任教授
野口 祐子
福祉環境論、
ユニバーサルデザイン



准教授
長谷川 恵美子
臨床心理学、医療心理学



助教
長谷部 雅美
高齢者福祉、地域ケア



准教授
堀 恭子
生涯発達心理学、
臨床心理学

主な開設科目【専門科目群】

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択
基礎科目			地域福祉論	牛津 信忠	△	専門演習 (子ども家庭論)Ⅱ	中谷 茂一	○
人間福祉総論	中谷 茂一	◎	医療福祉論	山本 博之	△	専門演習 (福祉環境論)Ⅰ	野口 祐子	○
キリスト教人間学A	阿部 洋治/ 久保島 理恵	◎	精神保健福祉に関する 制度とサービス	相川 章子	△	専門演習 (福祉環境論)Ⅱ	野口 祐子	○
キリスト教人間学B	阿部 洋治/ 久保島 理恵	◎	精神障害者の生活支援 システム	田村 綾子	△	専門演習 (生活支援論)Ⅰ	田村 綾子	○
情報社会の基礎理論	加藤 裕康	◎	精神保健福祉援助技術 総論	助川 征雄	△	専門演習 (生活支援論)Ⅱ	田村 綾子	○
人間社会科目			精神保健福祉援助技術 各論	児玉 照彰	△	専門演習 (精神保健福祉論)Ⅱ	相川 章子	○
人と社会関連科目			精神科リハビリ テーション学A	助川 征雄	△	専門演習 (社会心理学)Ⅰ	中原 純	○
現代社会と福祉	牛津 信忠	△	精神科リハビリ テーション学B	田村 綾子	△	専門演習 (社会心理学)Ⅱ	中原 純	○
死生学	横澤 義夫	△	社会福祉運営管理論	三田寺 裕治	△	専門演習 (カウンセリング論)Ⅰ	長谷川 恵美子	○
生命倫理学	川上 祐美	△	福祉行政と福祉計画	馬場 康徳	△	専門演習 (カウンセリング論)Ⅱ	長谷川 恵美子	○
社会学	齋藤 圭介	△	更生保護制度	三澤 孝夫	△	専門演習 (地域援助心理学)Ⅰ	堀 恭子	○
法学	松村 芳明	△	スクールソーシャル ワーク論	天野 敬子	△	専門演習 (地域援助心理学)Ⅱ	堀 恭子	○
人体の構造と機能及び疾病	藤野 秀美	△	国家資格演習・実習科目			卒業研究 (人間教育論)Ⅰ	阿部 洋治	○
社会調査の基礎	鷹野 吉章	△	社会福祉士			卒業研究 (人間教育論)Ⅱ	阿部 洋治	○
家族社会学	齋藤 圭介	△	社会福祉士			卒業研究 (高齢社会論)Ⅰ	古谷野 亘	○
高齢社会学	古谷野 亘	△	社会福祉援助技術演習A	長谷部 雅美/ 野口 祐子	△	卒業研究 (高齢社会論)Ⅱ	古谷野 亘	○
地域社会学	大高 研道	△	社会福祉援助技術演習B	長谷部 雅美/ 野口 祐子	△	卒業研究 (高齢者福祉論)Ⅰ	長谷部 雅美	○
福祉環境論	野口 祐子	△	社会福祉援助技術演習C	長谷部 雅美	△	卒業研究 (高齢者福祉論)Ⅱ	長谷部 雅美	○
社会保障論	宮寺 良光/高橋 聡	△	社会福祉援助技術演習D	長谷部 雅美/ 田村 綾子	△	卒業研究 (障害者福祉論)Ⅰ	木下 大生	○
保健医療サービス	中村 磐男	△	社会福祉援助技術演習E	長谷部 雅美	△	卒業研究 (障害者福祉論)Ⅱ	木下 大生	○
権利擁護と成年後見制度	長尾 愛女	△	社会福祉援助技術現場 実習指導Ⅰ	長谷部 雅美/ 木下 大生	△	卒業研究 (子ども家庭論)Ⅰ	中谷 茂一	○
就労支援サービス	野口 勝則	△	社会福祉援助技術現場 実習指導Ⅱ	長谷部 雅美/ 木下 大生	△	卒業研究 (子ども家庭論)Ⅱ	中谷 茂一	○
ボランティア論	川田 虎男	△	社会福祉援助技術現場 実習	長谷部 雅美/ 木下 大生	△	卒業研究 (福祉環境論)Ⅰ	野口 祐子	○
地域社会と生協	大高 研道	△	精神保健福祉士			卒業研究 (福祉環境論)Ⅱ	野口 祐子	○
NPO・NGO論 (国際協力)	榎本 珠良	△	精神保健福祉士			卒業研究 (生活支援論)Ⅰ	田村 綾子	○
NPO・NGO論 (非営利組織)	大高 研道	△	精神保健福祉援助演習 (基礎)	助川 征雄	△	卒業研究 (生活支援論)Ⅱ	田村 綾子	○
環境保全論	村上 公久	△	精神保健福祉援助演習 (専門)A	相川 章子	△	卒業研究 (精神保健福祉論)Ⅱ	相川 章子	○
レクリエーション論	長谷川 辰男	△	精神保健福祉援助演習 (専門)B	田村 綾子	△	卒業研究 (社会心理学)Ⅰ	中原 純	○
リハビリテーション論	長谷川 辰男	△	精神保健福祉援助実習 指導A	田村 綾子	△	卒業研究 (社会心理学)Ⅱ	中原 純	○
精神保健学	高畑 隆	△	精神保健福祉援助実習 指導B	相川 章子	△	卒業研究 (カウンセリング論)Ⅰ	長谷川 恵美子	○
精神医学		△	精神保健福祉援助実習 指導C	田村 綾子	△	卒業研究 (カウンセリング論)Ⅱ	長谷川 恵美子	○
スピリチュアルケア入門	伊能 忠嗣	△	精神保健福祉援助実習	田村 綾子/ 相川 章子/ 助川 征雄	△	卒業研究 (地域援助心理学)Ⅰ	堀 恭子	○
人間福祉の探求	古谷野 亘	△	教職実習科目			卒業研究 (地域援助心理学)Ⅱ	堀 恭子	○
人間福祉学特論A		△	社会福祉援助実習	森島 健	△	卒業論文		△
人間福祉学特論B		△	介護実習	高山 法子	△			
心理関連科目			演習科目					
心理学	堀 恭子	△	専門演習 (人間教育論)Ⅱ	阿部 洋治	○			
発達心理学A	金重 利典	△	専門演習 (高齢社会論)Ⅰ	古谷野 亘	○			
発達心理学B	堀 恭子	△	専門演習 (高齢社会論)Ⅱ	古谷野 亘	○			
教育心理学	橋本 和幸	△	専門演習 (高齢者福祉論)Ⅰ	長谷部 雅美	○			
社会心理学	中原 純	△	専門演習 (高齢者福祉論)Ⅱ	長谷部 雅美	○			
家族心理学	水本 深喜	△	専門演習 (障害者福祉論)Ⅰ	木下 大生	○			
犯罪心理学	澤田 豊	△	専門演習 (障害者福祉論)Ⅱ	木下 大生	○			
福祉心理学	堀 恭子	△	専門演習 (子ども家庭論)Ⅰ	中谷 茂一	○			
人間関係論	中嶋 励子	△						
性格心理学	山本 涉	△						
臨床心理学	長谷川 恵美子	△						
カウンセリング論	川西 智也	△						
心理学研究法	中原 純	△						
心理学実験実習A	長谷川 恵美子/ 中原 純	△						
心理学実験実習B	長谷川 恵美子/ 堀 恭子	△						
福祉関連科目								
介護概論	高山 法子	△						
介護技術	高山 法子	△						
相談援助の基礎と専門職	助川 征雄	△						
社会福祉援助技術論A	田村 綾子	△						
社会福祉援助技術論B	鷹野 吉章	△						
児童福祉論A	中谷 茂一	△						
児童福祉論B	中谷 茂一	△						
高齢者福祉論A	長谷部 雅美	△						
高齢者福祉論B	長谷部 雅美/ 古谷野 亘	△						
障害者福祉論A	木下 大生	△						
障害者福祉論B	木下 大生	△						
公的扶助論		△						

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

資格関連科目

中学・高等学校教諭教職課程、図書館情報学課程の履修をする際に必要な科目群です。

開設科目

科目名	担当教員	政治経済学部、 人文学部、 人間福祉学科	こども心理学科
教職の意義等に関する科目			
教師論	井上 兼生	◇	◇
教育の基礎理論に関する科目			
教育原理	井上 兼生	◇	◇
教育心理学	橋本 和幸	◇	◇
教育経営	梅澤 希恵	◇	◇
教育社会学	御手洗 明佳	◇	◇
学校と教育の歴史	石津 靖大	△	◇
教育課程及び指導法に関する科目			
教育方法論	井上 兼生	◇	◇
道徳教育の研究	秋池 功	◇	◇
道徳教育指導法	秋池 功		◇
特別活動の理論と方法	中沢 辰夫	◇	◇
社会科地理・歴史的分野 教育法	増田 正博	◇	
社会科公民的分野教育法	増田 正博	◇	
社会科授業研究Ⅰ	増田 正博	◇	
社会科授業研究Ⅱ	増田 正博	◇	
公民科教育法	井上 兼生	◇	
地理歴史科教育法	小川 洋	◇	
英語科教育法Ⅰ	阿字 宏康	◇	
英語科教育法Ⅱ	阿字 宏康	◇	
英語科教育法Ⅲ	小川 隆夫	◇	
英語科教育法Ⅳ	小川 隆夫	◇	
国語科教育法Ⅰ	熊谷 芳郎	◇	
国語科教育法Ⅱ	佐野 正俊	◇	
国語科教育法Ⅲ	熊谷 芳郎	◇	
国語科教育法Ⅳ	佐野 正俊	◇	
福祉科教育法Ⅰ	中谷 茂一	◇	
福祉科教育法Ⅱ	中谷 茂一	◇	
保健科教育法Ⅰ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅱ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅲ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅳ	藤田 和也		◇
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目			
生徒指導論 (進路指導を含む。)	井上 兼生	◇	◇
教育相談 (カウンセリングを含む。)	橋本 和幸	◇	◇
教育実習			
高等学校教育実習	井上 兼生/東 仁美/熊谷 芳郎/中谷 茂一/和田 雅史	◇	◇
中学校教育実習	井上 兼生/東 仁美/熊谷 芳郎/中谷 茂一/和田 雅史	◇	◇

必修科目:◇ 選択科目:△

科目名	担当教員	政治経済学部、 人文学部、 人間福祉学科	こども心理学科
教職実践演習			
教職実践演習(中等)	井上 兼生/東 仁美/熊谷 芳郎/和田 雅史	◇	◇
教科又は教職に関する科目			
介護等体験及び 事前事後指導	吉田 昌義/ 高山 法子	◇	◇
道徳教育の研究	秋池 功	◇	
道徳教育指導法	秋池 功		◇
司書に関する科目			
生涯学習概論	小池 茂子	◇	
図書館情報学概論	若松 昭子	◇	
図書館制度・経営論	三日市 紀子	◇	
図書館情報技術論	三日市 紀子	◇	
図書館サービス概論	岡谷 大	◇	
情報サービス論	吉田 隆	◇	
児童サービス論	黒沢 克朗	◇	
情報サービス演習A	吉田 隆	◇	
情報サービス演習B	坂内 悟	◇	
図書館情報資源概論	岡谷 大	◇	
情報資源組織論(目録)	榎本 裕希子	◇	
情報資源組織論(分類)	長谷川 幸代	◇	
情報資源組織演習(目録)	榎本 裕希子	◇	
情報資源組織演習(分類)	三日市 紀子	◇	
図書館基礎特論	黒沢 克朗	△	
図書館サービス特論	吉田 隆	△	
図書館情報資源特論	岡谷 大	△	
情報メディア史	若松 昭子	△	
図書館情報学演習	若松 昭子	△	
図書館実習	若松 昭子	△	
学校図書館司書教諭に関する科目			
学校経営と学校図書館(教職)	小川 三和子	◇	
学校図書館メディアの構成(教職)	若松 昭子	◇	
学習指導と学校図書館(教職)	米谷 茂則	◇	
読書と豊かな人間性(教職)	小川 三和子	◇	
情報メディアの活用(教職)	長谷川 幸代	◇	

※科目名、担当教員等の情報は、2016年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載していません)。

※資格取得のためには上記以外の科目の履修も必要です。また上記以外の資格の取得も可能です。詳細は、オープンキャンパス等でお尋ね下さい。

司書講習 実施概要(2015年度)

講習期間

司書講習
7月23日～9月17日

受講人数

	司書
全受講	77
部分受講	8
合計	85

受講生内訳(職業別)

司書	
図書館勤務	14
その他社会人	63
学生(他大学)*	8

※本学学生は、司書課程内での資格取得を原則とするため司書講習は受講できません。

教育職員免許状・資格取得者数一覧(2011～2015年度)

種別	教科	2011	2012	2013	2014	2015
高等学校 教諭一種	公民	4	2	4	4	2(1)
	地理歴史	4	2	4	3(1)	1
	情報	0	1	0	0	0
	英語	7	1	3(1)	8	3
	国語	8	7	6	11	2(1)
	福祉	1	0	4	2	3
中学校 教諭一種	社会	5	3	6	7(1)	1
	英語	7	1	3(1)	8	3
	国語	6	7	5	8	2(1)
小学校教諭一種		35	24	37	23	27(1)
幼稚園教諭一種		82(2)	85	79(1)	79(2)	75
保育士		60	70	57(2)	57(2)	50
図書館情報学	司書	52	50(1)	50	30	30(1)
	司書教諭	32	15	15	5	1
社会教育主事		10	0	3	2	0
日本語教員		6(1)	10	6	5(1)	2
社会福祉士国家試験受験資格		24	27	24	12	16
精神保健福祉士国家試験受験資格		13	6	5	11	4
認定心理士		18	8	7	12	31

※()内の数字は9月卒業者の教育職員免許状・資格取得者数

社会福祉士 国家試験受験結果(2011～2015年度)

()は新卒

年度	2011	2012	2013	2014	2015
試験実施年	2012	2013	2014	2015	2016
回数	24回	25回	26回	27回	28回
受験者	42(24)	49(27)	47(24)	39(12)	29(10)
合格者	10(7)	5(4)	12(8)	2(1)	2(2)

参考:第28回(2015年度:2016年1月実施)社会福祉士合格率(全国) 26.2%

精神保健福祉士 国家試験受験結果(2011～2015年度)

()は新卒

年度	2011	2012	2013	2014	2015
試験実施年	2012	2013	2014	2015	2016
回数	14回	15回	16回	17回	18回
受験者	19(12)	12(6)	7(5)	13(11)	9(2)
合格者	9(6)	8(6)	3(3)	5(5)	3(2)

参考:第18回(2015年度:2016年1月実施)精神保健福祉士合格率(全国) 61.6%

教員を目指す学生による学習活動支援

聖学院大学では、市教育委員会との協定により、聖学院大学生を市の公立小学校に派遣しています。実際の教育の充実にかかわるとともに、教員を目指す学生自身の励みともなっています。

●さいたま市

年度	2011		2012		2013		2014		2015	
	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール
参加学校数	10	1	5	1	4	2	1	2	2	1
参加学生数	11	2	6	6	4	2	2	6	2	3

●上尾市

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2015
参加学校数	2	0	0	0	0	1
参加学生数	2	0	0	0	0	3

※学生数はのべ人数

●埼玉県

年度	2015
	スチューデントサポーター
参加学校数	1
参加学生数	1

専任教職員数 (2016年5月1日現在)

大学

学科	政治経済	コミュニ ティ政策	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	基礎総合 教育部	
教授	16	3	8	7	6	7	6	0	
准教授	3	2	2	5	2	4	4	1	
講師	2	1	2	0	5	2	0	9	
助教	1	0	1	0	1	1	1	0	
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	総計
合計	22	6	13	12	14	14	11	11	103

※大学院教員含む

事務職員

職員	86
合計	86

総合研究所

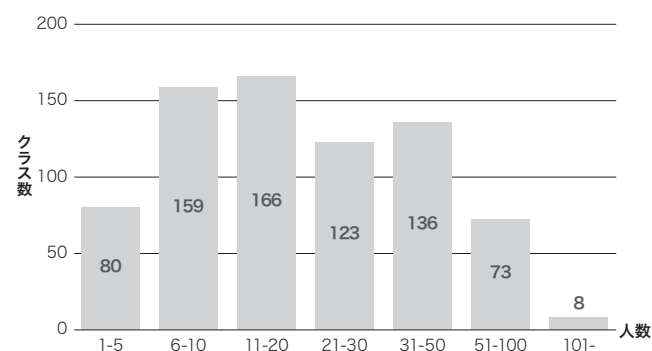
教授	0
准教授	0
講師	3
助教	0
助手	0
合計	3

授業・履修状況

クラス規模状況

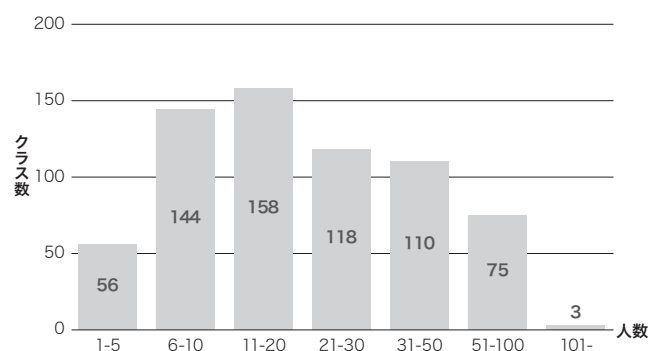
2015年度 春学期

(2015年5月20日現在)



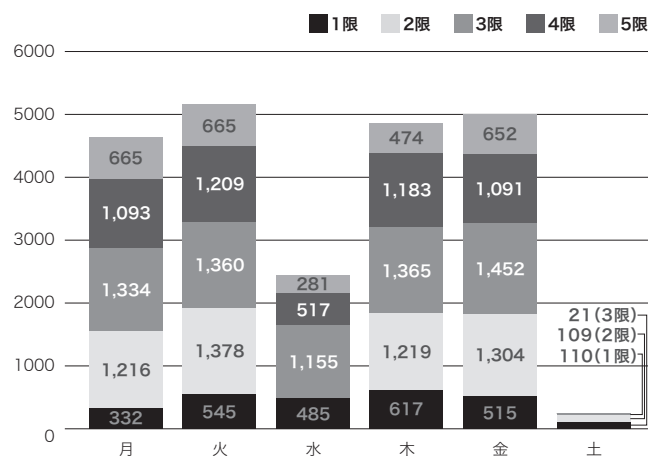
2015年度 秋学期

(2015年11月18日現在)

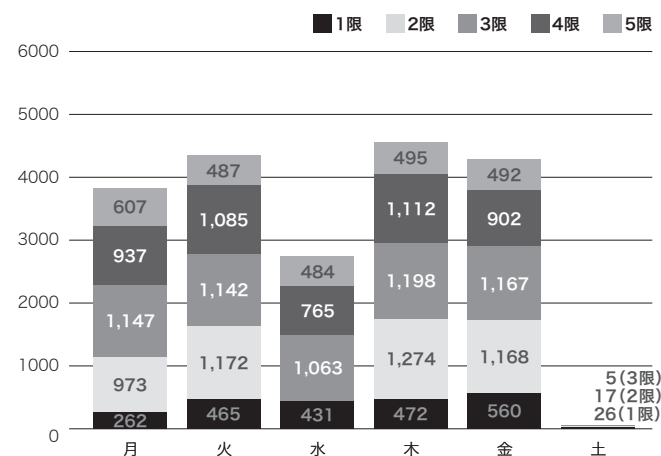


曜日・時限別履修者数

2015年度 春学期



2015年度 秋学期



学部科目等履修生実績(2013~2015年度)

	2015	2014	2013
履修科目数	44	50	54
内聴講生	32	43	42
人数	16	23	20
内聴講生	12	15	14

リカレント教育講座(2013~2015年度)

	2015		2014		2013	
	春	秋	春	秋	春	秋
受講者数	43	42	35	41	42	33
講座数	8	9	9	6	5	10

聖学院大学では埼玉県と協定し、2007年度より団塊世代・高齢者を対象とした開放授業講座(リカレント教育講座)を開講しています。

アセンブリアワー

主なプログラム内容(2015年度)

開催時期	主なプログラム内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育実習(児童学科) 学友会 学生総会 保育実習ガイダンス(児童学科) 国家試験対策オリエンテーション(人間福祉学科)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 学長講話 避難訓練 大学生基礎力調査フォローガイダンス キリスト教 音楽会 キリスト教保育の実践①/②(児童学科) 児童虐待の実態と対応について(児童学科) 福祉士資格取得希望者ガイダンス①(人間福祉学科)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修・海外企業インターンシップ報告・説明会(欧米文化学科) 保育実習A/Bガイダンス(児童学科) 藤田孝典客員准教授 講演会「広がる高齢者の貧困と老後破産」(人間福祉学科) TOEIC-IP(欧米文化学科) 専門演習・保育実習ガイダンス(児童学科) 社会福祉士・精神保健福祉士って?(人間福祉学科) 学生会特別企画(日本文化学科) 日本文化学科講演会①/日本文化学会総会(日本文化学科) 「子どもの遊びを知らう」アッピールランド(こども心理学科1年生) 国際交流会 日本文化学科講演会②(日本文化学科) ゼミ説明会(こども心理学科2年) 専門演習説明会(欧米文化学科) 講演会「情報社会と著作権ネット時代に情報の「意味」を考える」(政治経済学科、こども心理学科、人間福祉学科)
7月	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL-ITP(欧米文化学科) 長谷川ひさい氏 病児保育の話(こども心理学科) 東海林 敬介氏 政経仕事カフェ(政治経済学科) 教務指導(日本文化学科1年生) 公立保育士の仕事について(児童学科) アドバイザーグループ(こども心理学科1年生) 卒業生を招いて-キャリアガイダンス-(人間福祉学科) 海外福祉研修説明会(人間福祉学科) 海外研修説明会(児童学科) 専門演習ガイダンス(人間福祉学科) English for Fun(欧米文化学科) 福祉士資格取得希望者ガイダンス③(人間福祉学科) アドバイザーグループ(児童学科1年生) 保育実習ガイダンス(児童学科)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習ガイダンス(児童学科)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ハロウィーン(欧米文化学科) アドバイザーグループ(こども心理学科1年生) OB講演会(欧米文化学科) 海外福祉研修説明会(人間福祉学科) 河西恵子氏 保育に関する仕事(こども心理学科) おもちゃで遊ぼう!(児童学科) 創立記念講演会 卒論中間発表会(こども心理学科) 幼稚園教育実習/保育実習ABガイダンス(児童学科) 社会福祉士資格取得希望者ガイダンス(人間福祉学科)
11月	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ報告会 基礎実習ガイダンス(児童学科) 上尾市税務署長講演「税の役割と税務署の仕事」(政治経済学科) 国語科教育実習報告会(日本文化学科) 卒論テーマ発表会(児童学科) 卒業論文中間発表会(人間福祉学科) クリスマス準備(欧米文化学科) 児童虐待への対応と防止について(こども心理学科) TOEIC-IP(欧米文化学科) 卒論中間発表会(追加)(こども心理学科) 卒論中間発表会(欧米文化学科) 日本語教員実習報告会(日本文化学科) 「子どもの遊びを知らう」アッピールランド(こども心理学科) 就職活動セミナー(政治経済学科) 卒業研究ゼミわけ説明会(日本文化学科) 卒論中間報告会(日本文化学科)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 第13回留学生日本語弁論大会 クリスマス礼拝 卒論中間発表会(政治経済学科) 英語スピーチコンテスト 3年生限定就職内定者座談会(人間福祉学科)
1月	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL-ITP(欧米文化学科) 専門演習ゼミわけ説明会(日本文化学科) 川崎司教授最終講義(日本文化学科) 藤田孝典客員准教授 講演会「社会に働きかけるソーシャルワークの仕事」(人間福祉学科) TOEIC-Bridge(欧米文化学科1年生) 窪寺俊之教授最終講義(こども心理学科) 卒論発表会(こども心理学科) ラニー・ラッカー氏講演「ゴスペル音楽の世界」(欧米文化学科) 保育教材発表会(児童学科) 保育実習ガイダンス(児童学科) 政経 仕事カフェ(政治経済学科) 実習報告会(児童学科) 幼稚園教育実習ガイダンス(児童学科) 実習報告会(人間福祉学科)

※その他、学生相談(全学部)、ゼミ紹介(政治経済学科)などが開催されています。

在学中の学修時間

2015年度在学学生アンケート・卒業生アンケートより

●在学学生 大学生生活アンケート

実施方法:2015年12月、回答者が重ならないように、授業やゼミで主に1-3年に配布、実施。

回答者数:1,020
回収率:71%

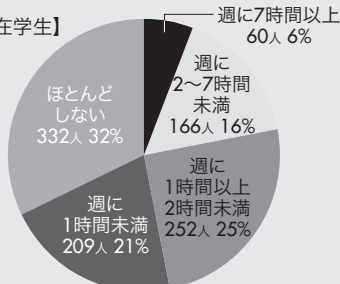
●卒業生 大学生生活アンケート

実施方法:2016年3月卒業式にて卒業生に実施。

回答者数:383
回収率:86%

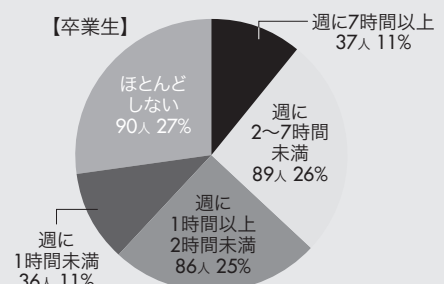
※有効回答数よりグラフを作成。

【在学学生】



質問:あなたは授業に関する勉強をどのぐらいしていますか。

【卒業生】



質問:最終学年では授業に関する勉強を1週間平均してどの程度行いましたか。

大学院

教員と主な担当科目



政治政策学研究科長
谷口 隆一郎



アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科
清水 均



人間福祉学研究科長
古谷野 巨

肩書	教員名	主な担当科目
政治政策学研究科		
教授・研究科長	谷口 隆一郎	デモクラシー・人権政策研究
教授	阿久戸 光晴	キリスト教文化学研究C / デモクラシー・人権政策研究
教授	石川 裕一郎	憲法研究
教授	大高 研道	社会的企業論 / 社会的企業論演習I・II
教授	菊地 順	デモクラシー・人権政策研究
教授	柴田 武男	経済学研究 / 経済学演習I・II
教授	平 修久	まちづくり論研究 / まちづくり論演習I・II
教授	村上 公久	地球環境論研究
准教授	八木 規子	組織行動論
准教授	金子 毅	経営文化論
准教授	鄭 鎬碩	多文化コミュニケーション論
准教授	森分 大輔	政治学原論研究
助教	小松崎 利明	平和研究
特任教授	野田 扇三郎	租税法研究B / 租税法B演習I・II
特任教授	吉川 保弘	租税法研究A / 租税法A演習I・II
特任講師	木村 裕二	民法と実務A / 民法と実務B
客員教授	佐藤 謙一	租税法研究C / 租税法C演習I・II
非常勤講師	大塚 健司	埼玉地域政策研究
非常勤講師	児玉 博昭	公共政策研究
非常勤講師	佐藤 一子	地域文化論

肩書	教員名	主な担当科目
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科		
教授・研究科長	清水 均	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / 文献講読A
教授	氏家 理恵	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / 原書講読A(英語) / 原書講読B(英語)
教授	菊地 順	キリスト教文化学研究C
教授	清水 正之	日本文化学研究A / 日本文化学A演習I / 日本文化学A演習II
教授	濱田 寛	文献講読B
教授	原 一子	原書講読A(独語)
教授	村松 晋	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / 日本文化学研究B / 日本文化学B演習I・II
教授	和田 光司	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / ヨーロッパ文化学研究B / 文献講読C
准教授(※)	藤掛 明	総合文化学特殊研究
特命教授	大木 英夫	キリスト教文化学特殊研究
特任教授	関根 清三	キリスト教文化学研究A / キリスト教文化学A演習I・II / 原書講読B(独語) / 文献講読D / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論
客員教授	稲田 敦子	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / ヨーロッパ文化学研究B / ヨーロッパ文化学特殊研究 / ヨーロッパ文化学B演習I
客員教授(※)	牛津 信忠	総合文化学特殊研究
客員教授	片柳 榮一	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / ヨーロッパ文化学研究A / ヨーロッパ文化学A演習I・II / 原書講読A(ラテン語) / 原書講読B(ラテン語) / ヨーロッパ文化学特殊研究
客員教授(※)	岸田 貞夫	総合文化学特殊研究
客員教授(※)	窪寺 俊之	総合文化学特殊研究
客員教授(※)	助川 征雄	総合文化学特殊研究
客員教授	高橋 義文	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / アメリカ文化学研究A / ヨーロッパ文化学特殊研究 / アメリカ文化学A演習I
客員教授	田中 浩	日本文化学特殊研究
客員教授	森田 美千代	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / アメリカ文化学研究C / 日本文化学特殊研究 / 研究方法特論I・II / アメリカ文化学特殊研究 / アメリカ文化学C演習I / アメリカ文化学C演習I・II
非常勤講師	鹿瀬 颯枝	原書講読A(仏語)
非常勤講師	左近 豊	原書講読A(ヘブライ語) / 原書講読B(ヘブライ語)

肩書	教員名	主な担当科目
人間福祉学研究科		
教授・研究科長	古谷野 巨	研究法入門 / 高齢者福祉特論 / 調査研究法I(量的研究) / 高齢者福祉研究演習I・II
教授	相川 章子	精神保健福祉特論 / 精神保健福祉研究演習I・II
教授	阿部 洋治	キリスト教人間学研究
教授	小池 茂子	生涯学習特論
教授	田澤 薫	児童学特論 / 児童学研究演習I・II
教授	中谷 茂一	児童福祉特論 / 児童福祉研究演習I・II / 児童福祉研究演習II
教授	松本 祐子	児童文学特論
教授	村山 順吉	児童音楽表現法特論
教授	和田 雅史	健康教育学特論A / 健康教育学特論B / 健康教育学研究演習I・II
准教授	木下 大生	障害者福祉特論 / 障害者福祉研究演習I・II
准教授	佐藤 千瀬	児童教育学特論 / 児童教育学研究演習I・II
准教授	寺崎 恵子	児童文化特論
准教授	中原 純	社会心理学特論
准教授	長谷川 恵美子	臨床心理学特論
准教授	藤掛 明	臨床死生学特論 / キリスト教カウンセリング特論 / 臨床死生学研究演習I・II
准教授	堀 恭子	発達心理学特論
特任教授	野口 祐子	福祉工学特論
客員教授	牛津 信忠	社会福祉学特論 / 社会福祉学研究演習I・II
客員教授	窪寺 俊之	スピリチュアルケア研究演習II
客員教授	助川 征雄	ソーシャルワーク特論 / ソーシャルワーク研究演習I・II / ソーシャルワーク研究演習II
非常勤講師	安部 能成	スピリチュアルケア特論
非常勤講師	小倉 啓子	調査研究法II(質的研究)
非常勤講師	石川 由美子	発達心理学研究演習II
非常勤講師	入江 礼子	調査研究法III(保育・教育実践研究法)

【(※)は他の研究科が主担当】

2016年度の大学院担当教員となります。

大学院在学学生数

2016年5月1日現在

研究科名	政治政策学研究科 (修士)			アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 (博士前期)			人間福祉学研究科(修士)			アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 (博士後期)			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年(修士・博士)	10	7	3	5	2	1	10	3	2	5	2	1	14
2年(修士・博士)	10	15	2	5	4	1	10	10	6	5	1	0	30
3年(博士)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	12	3	12
合計	20	22	5	10	6	2	20	13	8	15	15	4	56

社会人学生年代別在籍状況 (大学卒業後3年以上、大学等卒業後1年以上の社会人経験を有する者)

年代	全在籍数	内社会人数	20代	30代	40代	50代	60代	70代
政治政策学研究科	22	15	36%	41%	—	14%	9%	—
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科(前期・後期)	21	16	14%	19%	10%	14%	33%	10%
人間福祉学研究科	13	10	31%	8%	38%	23%	—	—

(2016年5月現在)

大学院科目担当教員数

教授	25
准教授	9
講師	1
合計	35

※非常勤は含まず

修了状況

研究科名	政治政策学 (修士)	アメリカ・ヨーロッパ文化学 (博士前期)	人間福祉学 (修士)	アメリカ・ヨーロッパ文化学 (博士後期)	総計
2015年度	10	1	4	4	19
2014年度	15	2	5	2	24
2013年度	12	3	5	2	22

RA/TAについて

大学院生の経済的サポートと研究遂行能力を向上させるため、聖学院大学大学院ではリサーチ・アシスタント(RA)制度およびティーチング・アシスタント(TA)制度を導入し援助を行っています。

RAは、総合研究所、大学院が主催する研究会やシンポジウム、共同研究を遂行する補助業務を行います。応募対象者は博士後期課程の大学院生です。

TAは、学部で授業科目にかかわる教育上の補助業務を行います。応募対象者は修士課程/博士前期課程の大学院生です。

	RA	TA
2015年度	3	7
2014年度	6	8
2013年度	6	13

大学院科目等履修者数

	研究科科目	春学期	秋学期	合計
2015年度	政策研系	0(0)	0(0)	0(0)
	文化研系	2(2)	0(0)	2(2)
	福祉研系	6(5)	4(3)	10(8)
	計	8(7)	4(3)	12(10)
2014年度	政策研系	0(0)	0(0)	0(0)
	文化研系	4(3)	2(2)	6(5)
	福祉研系	13(5)	13(11)	26(16)
	計	17(8)	15(13)	32(21)
2013年度	政策研系	0(0)	1(1)	1(1)
	文化研系	7(4)	3(3)	10(7)
	福祉研系	14(8)	8(5)	22(13)
	計	21(12)	12(9)	33(21)

()内の数字は聴講者数(内数)

大学院修了後の主な進学先・勤務先

さいたま市役所/
本庄市市議会議員/
埼玉県/
小山市役所/
聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程/
合同酒精(株)/
名古屋経済大学大学院博士後期課程/
聖学院/
日本トナルドタン(株)/
関東自動車協議会/
ヤマハ(株)/
財務省東京税関/
上尾市役所/
福岡県立大学/
大阪キリスト教短大/
静岡県立大学大学院博士後期課程/
九州大学大学院博士後期課程/
トリニティ・ウェスタン大学連合/
カナダ神学校修士課程/
千葉商科大学大学院博士後期課程/
東武鉄道(株)/
埼玉県社会福祉事業団/
保護観察官/
東亜学園高校/
我孫子市市議会議員/
(株)ダイヤ高齢社会研究財団/
(株)日本M&Aセンター/
全国農業協同組合/
(株)日本看護協会看護教育センター/
石川県/
厚生労働省/
静岡県立大学/
文京大学付属中学校・高等学校/
帝京大学/
東京YMCA社会体育・保育専門学校/
埼玉県議会議員/
島根大学医学部/
電通/
日本私立学校振興・共済事業団/
みずほ銀行/
社会福祉協議会/
戸田翔陽高校/
(株)村山鋼材/
経済産業省/
教育委員会/
(株)ヘアレンツ/
深谷メンタルクリニック/
(株)ローソン/
東日本銀行/
清水建設(株)/
聖学院大学総合研究所/
浦和税理士法人/
(株)日本政策金融公庫/
TAC(株)/
(株)日本エスシーマネジメント/
(株)グローイング総研/
(株)エムエムジー経営研究所/
ハイトスコオペレーション(株)/
(株)リアル/
(財)高齢者住宅財団/
JTB日本交通公社/
東京西徳州会病院

大学院 外国籍学生在籍数

2016年5月1日現在

研究科名	国籍名	男子	女子	総計
政治政策学	中国	0	1	1
	アメリカ・ヨーロッパ文化学	0	0	0
人間福祉学	中国	0	0	0
	韓国	1	1	2
総計		1	2	3

ラーニングセンター

ラーニングセンターは、学生の学修サポートをしています。センターには教員から指導を受ける指導エリアと、発展的な学習ができる設備を備えた「ラーニングcommons」という場があります。

指導エリアでは、常駐している国語と英語の教員に学習面での不安や悩みを相談し、解決していきます。また、もっと力を伸ばしたい、学びを深めたいという声に応え、定期的な利用も可能です。必要に応じてアドバイザーやゼミの教員など、各学科と連携を取りながら支援していきますので、一人ひとりが自分に合った学習方法を見つけることができます。

ラーニングcommonsでは、自主学習、グループ学習などを支援する総合的学習スペースとして、プロジェクターやホワイトボード(電子黒板)などの機器を用意していますので、アカデミック・スキルズを学ぶことができます。

担当教員



センター所長 特任講師
尾張 宏一

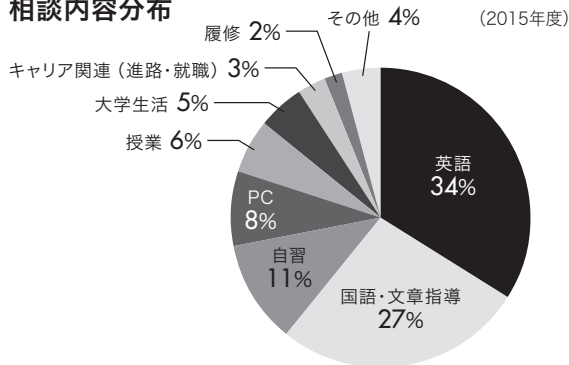


特任助手
木村 美里

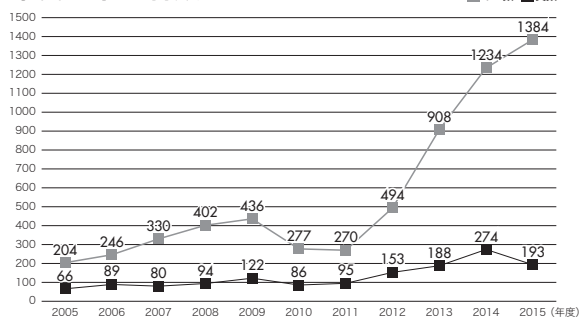


ポストドクター
(ラーニングcommons担当)
齋藤 伸

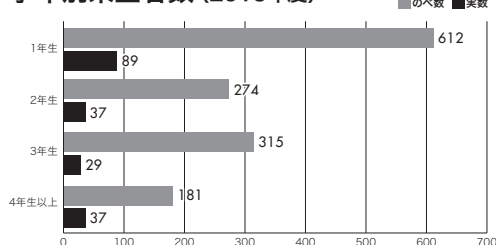
相談内容分布



年度別来室者数



学年別来室者数 (2015年度)



留学

主な短期海外研修の参加状況 (2011~2015年度)

年度	国	大学/都市	政	コ	欧	日	児	こ	福	計	
2015年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	3	0	1	0	0	4
		オーストラリア	ディーキン大学	0	0	4	1	0	0	0	5
	春	オーストラリア	フリンダース大学	-	-	-	10	-	-	10	
		アメリカ	SAINTS*	-	-	-	-	2	-	2	
	カレッジ	アメリカ	ハイラインカレッジ/ワシントン州シアトル市	-	-	1	-	-	-	1	
		提携校	アメリカ	ホープ大学/ミシガン州ホランド市	1	0	0	0	0	0	1
			小計	1	0	8	1	11	2	0	23
2014年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	4	0	1	0	2	7
		韓国	啓明大学校	0	1	1	1	0	0	0	3
	春	アメリカ	SAINTS	-	-	-	-	2	-	2	
		ドイツ	ゲーテ-インスティテュート(ハイベルク)マンハイム校	0	0	1	0	0	0	0	1
	カレッジ	オーストラリア	ディーキン大学	0	0	6	0	0	0	0	6
		アメリカ	SAINTS	-	-	-	-	1	-	1	
			小計	0	1	2	1	2	2	2	29
2013年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	3	0	0	0	0	3
		韓国	啓明大学校	1	1	0	0	1	0	0	3
	春	アメリカ	オグルソープ大学/アトランタ	0	1	0	0	0	0	0	1
		フランス	南フランスモンペリエ ILA	0	0	1	0	0	0	0	1
	カレッジ	アメリカ	ハイラインコミュニティカレッジ	-	-	5	-	-	-	-	5
		提携校	アメリカ	オグルソープ大学/アトランタ	0	0	2	0	0	0	0
			小計	0	1	2	1	2	2	2	29
2012年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	3	0	0	0	0	3
		韓国	啓明大学校	1	1	0	0	1	0	0	3
	春	アメリカ	オグルソープ大学/アトランタ	0	1	0	0	0	0	0	1
		フランス	南フランスモンペリエ ILA	0	0	1	0	0	0	0	1
	カレッジ	アメリカ	ハイラインコミュニティカレッジ	-	-	3	-	-	-	-	3
		提携校	アメリカ	オグルソープ大学/アトランタ	0	0	2	0	0	0	0
			小計	1	2	14	0	16	0	4	37
2011年度	夏	韓国	啓明大学校	0	2	0	0	0	0	0	2
		日本	ノーススター・アウトドア・アドベンチャーズ	2	0	6	4	0	0	0	12
	春	オーストラリア	クイーンズランド大学	1	0	0	2	0	0	0	3
		フランス	リヨン、パリ	0	0	2	0	0	0	0	2
	カレッジ	アメリカ	ハイラインコミュニティカレッジ	-	-	9	-	-	-	-	9
		提携校	アメリカ	ラグレング大学	0	0	1	0	0	0	0
			小計	7	2	22	8	4	0	12	55

* SAINTS: 聖学院アトランタ国際学校 実施時期は年度によって異なるが11月または1月
 コミュカレ(コミュニティカレッジ)、提携校は長期の留学プログラム

提携校留学者数

年度	政	コ	欧	日	児	こ	福
2015年度	1	0	0	0	0	0	0
2014年度	0	0	2	0	0	0	0
2013年度	0	0	2	0	0	0	0
2012年度	0	0	1	0	0	0	0
2011年度	0	1	3	0	0	-	0

留學生日本語弁論大会

年度	回数	開催日	本選出場者
2015	13	12月2日	8名
2014	12	12月3日	8名
2013	11	12月4日	7名
2012	10	12月5日	7名
2011	9	12月7日	8名